

#### 4 非定期刊行物の Whole work information (収載巻情報): 引用作品に非定期刊行物 1 巻～数巻にわたる収載巻がある場合 (=引用作品が一巻あるいは数巻にわたる非定期刊行物の、個別に巻立てされていない一部である場合)

引用作品に、非定期刊行物 1 巻～複数巻にわたる収載巻がある場合は、「3 非定期刊行物」の特定の位置に収載巻情報を挿入しなくてはならない。挿入場所については以下に示す。

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. ココに収載巻情報を挿入 Tokyo: CGS Press.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. ココに収載巻情報を挿入 Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Vols. 1-2, Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. ココに収載巻情報を挿入 Tokyo: CGS Press.

- ・ 収載巻情報を記述する場合は、
  - ・ 日本語の引用作品タイトルを、二重かぎ括弧から一重かぎ括弧に囲み直す。
  - ・ 日本語以外の引用作品タイトルをイタリサイズから標準に戻す。
- ・ 収載巻情報を記述する場合は、引用作品が独立して巻立てされていないことが前提なので、必然的に引用作品の巻数の情報は記述できない。
- ・ 引用作品のバージョン名とエディション情報は、収載巻と一致しない場合もあるので（過去に別に出版された作品を収載巻に再録している場合など※）、そのまま記述することもある。  
※再録の場合 Reprint 扱いになるので、末尾追加情報で正本情報（Reprinted from～）を記述しなくてはならない。

#### 4.1 開始の In

収載巻情報は In で始まる。

ただし、収載巻が Tape、CD、DVD などの記憶媒体収録物の場合は On で始まる点に注意。

#### 4.2 Whole work contributors (収載巻貢献者) の記述

##### 4.2.1 収載巻貢献者: 著者位置位置以外における人名: Templates

収載巻情報の開始の In (収載巻が Tape、CD、DVD などの記憶媒体収録物の場合は On) の直後には、収載巻貢献者を記述する。

##### ■ 著者位置以外の場所での貢献者名 (人名) の構成

- ・ Given names を (Middle name(s)がある場合はそれらも全て) イニシャルで

・ Surname

・ Suffix (Jr.や III などがある場合のみ)

の3部によって、この順で構成される。

著者位置以外の場所においては、貢献者名は名→姓の順で記述する（日本語人名・日本語に転写された人名を除く）。

※当紀要への投稿論文では、必ずしも Given name をイニシャルに省略する必要はないが（日本語人名や日本語に転写された人名では、そもそもイニシャルにできない）、論文を通して省略するかしないかについて統一されている必要がある。また、Given name をイニシャル化しない場合でも、Middle names は必ずイニシャル化すること（e.g., S. ■E. ■Aga と Satana ■E. ■Aga）

○これら人名の各構成要素はピリオド等で終止せず、またそれぞれの要素間は、著者位置と違い、カンマを打たずにただ半角スペースで区切る（日本語人名除く）。

Given name・Middle name(s)のイニシャルや Jr の直後のピリオドは、一見これら要素の終了のようにも見えるが、実際はそれらが省略形であることを意味するだけのものである（ピリオドを打つのは Suffix では Jr だけで III 以降はピリオドなし）。

著者位置とは違って、各貢献者名一人一人（一団体一団体）の末尾には、貢献者名の終止を意味するピリオドを打たない。Given name・Middle name(s)のイニシャルや Jr が省略形であることを意味するピリオドが、一見貢献者名の終止ピリオドのようにも見えるが、実際はそれらが省略形であることを意味するだけのものである（ピリオドを打つのは Suffix では Jr だけで III 以降はピリオドなし）。

**■著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙**

- ・ 日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・ それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・ 2 人列挙の場合では A, ■& ■B, ■
- ・ 3 人以上の列挙では A, ■B, ■... ■F, ■& ■G, ■

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A, ■B, ■C, ■D, ■E, ■F, ■... ■Z, ■

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

**■著者位置以外の場所での、同一 Contribution でまとめた貢献者グループの列挙**

- ・ 2 グループ列挙の場合では GroupA, ■& ■GroupB ■
  - ・ 3 グループ以上の列挙では GroupA, ■GroupB, ■... ■GroupF, ■& ■GroupG ■
- となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような同一 Contribution グループの列挙は 7 グループまでで、8

グループ以上ある場合は  
GroupA, GroupB, GroupC, GroupD, GroupE, GroupF, . . . GroupZ,  
のように記述する。アンパサンドを使わずに6グループ目までカンマを  
挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後  
に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。  
また、グループ間の順序はContributionの重要度で決まる。  
該当貢献者が複数いれば、Contributionも複数形になる点に注意。

■ 著者位置以外の場所でのContributionの列挙は  
Contributionがいくつか兼任されている場合は、  
・ Contributionを半角角括弧で囲う場合は  
 ・ 2つの列挙で(ContributionA & ContributionB)、  
 ・ 3つ以上だと(ContributionA, ContributionB, . . . ContributionY &  
 ContributionZ)  
・ Contributionを半角角括弧で囲わない場合は、  
 ・ 2つの列挙でContributionA & ContributionB、  
 ・ ContributionA, ContributionB, . . . ContributionY & ContributionZ  
のように、いずれもアンパサンド前にカンマを打たずに記述する（ここ  
が貢献者名の列挙と違うので注意）。  
Contributionは貢献者名と違って、8以上あっても. . . で省略しない。  
該当貢献者が複数いれば、Contributionも複数形になる点に注意。

■ 著者位置以外の場所での人名のバリエーション  
1) 著者位置以外の場所における貢献者が通常の人名の場合  
阿賀沙多菜  
S. E. Aga  
Satana E. Aga  
  
2) 著者位置以外の場所における貢献者名のSurnameに接頭辞（Oや  
Mc）がつく場合  
M. A. MacNeil  
Maria A. MacNeil  
M. A. McArthur  
Maria A. McArthur  
M. A. O'Connell  
Maria A. O'Connell  
接頭辞の記述は、引用した作品の記述に倣うこと。  
  
3) 著者位置以外の場所における貢献者名のSurnameに前置詞（deや  
van）がつく場合  
R. H. van Rijn  
Rembrandt H. van Rijn  
P. de Champaigne  
Philippe de Champaigne  
M. Q. de La Tour  
Maurice Q. de La Tour  
F. von Stuck

Franz ■ von ■ Stuck

接続詞なども、省略せずに記述する。

4) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname が複数の語に分かれている場合

H. ■ Rodham ■ Clinton

Hillary ■ Rodham ■ Clinton

Surname が複数の語によって成り立っている場合は、それをそのまま記述する。

5) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合

A. ■ Labille-Guiard

Adelaide ■ Labille-Guiard

貢献者名の Surname が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合でも、それをそのまま記述する。

6) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname に Suffix (Jr. や III) がつく場合

S. ■ E. ■ Aga ■ III

Satana ■ E. ■ Aga ■ Jr.

Jr の末尾ピリオドは、Jr が省略形であることを示す末尾ピリオドである。

7) 著者位置以外の場所における貢献者名の Given name や Middle name(s) が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合

J.-B. ■ Lamour

Jean-Baptiste ■ Lamour

イニシャル化をする場合は、ハイフンの前後両方共をイニシャル化する。

8) 著者位置以外の場所における貢献者名が Surname ・ Given name ・ Middle names という構成要素で成り立っていない人名の場合

Samirah ■ bint ■ Ibrahim ■ bin ■ Hamad ■ Al-Ibrahim

著者位置以外の場所では、原語での記述順に、要素ごとに半角スペースで区切って記述する。

ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s) をイニシャル化しなくて良い

9) 著者位置以外の場所における貢献者名が日本語転写された貢献者名の場合（翻訳作品を除く）

(1) 著者位置以外の場所における貢献者名がカタカナ転写の場合

サタナ・E・アガ

サタナ・エリザベス・アガ

サタナ・E.=アガ

サタナ・エリザベス=Aガ

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、各要素間にはスペースを

挟まず、代わりに中黒を打って記述する。＝記号が使用されている場合は、それもそのまま記述。**カタカナ転写の場合は、中黒は必須。**

(2) 著者位置以外の場所における貢献者名が日本式漢字への転写の場合  
魯迅。

司馬遷。

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、日本語人名と同じく**中黒は打たない。**

(3) 著者位置以外の場所における貢献者名がカタカナ転写・日本式漢字転写・ローマ字表記などが混交した転写の場合

エリザベス阿賀沙多菜

エリザベス・阿賀・沙多菜

Elisabeth 阿賀沙多菜

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、中黒に関しても作品の記述に倣う。**作品の記述に中黒がない場合は打たなくて良い。**

10) 著者位置以外の場所における貢献者名が、Given name・Middle name(s)をイニシャル化した結果、同姓異名の著者の区別がつかなくなってしまった場合

S.■E.■Aga■[Satana■Elisabeth]

S.■E.■Aga■[Satana■Elyse]

または、

Satana■E.■Aga■[Elisabeth]

Satana■E.■Aga■[Elyse]

区別がつかない貢献者たちだけ、貢献者名直後に半角角括弧で囲った形で、イニシャル化しない Given name と Middle name(s)を記述する。

11) 著者位置以外の場所における貢献者名: 引用作品が日本語以外の言語から日本語に翻訳されたものの場合

Jiaoda■Du■[**■**基督教大,**■**基督教大]

Kyotae■Tok■[**■**독교대,**■**トク・キョデ]

・貢献者名のローマ字記述 (原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない /ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い)

・原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名,**■**貢献者名の日本語転写]の2つを記述する。原語による貢献者名の記述の際、姓名の順は原語の慣例に習う。貢献者名の日本語転写は9)を参照のこと。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

12) 著者位置以外の場所における貢献者名: 引用作品が英語以外の言語から英語に翻訳されたものの場合

Jiaoda■Du■[**■**基督教大]

Kyotae■Tok■[**■**독교대]

・貢献者名のローマ字記述 (原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない)

／ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い)

- ・原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名]を記述する。姓名の順は原語の慣例に習う。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

13) 著者位置以外の場所における貢献者名: 引用作品が英語・日本語以外の言語によって制作された原語版の場合

Jiaoda■Du■[■基督教大]

Kyotae■Tok■[■독교대]

- ・貢献者名のローマ字記述 (原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない)／ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い)
- ・原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名]を記述する。姓名の順は原語の慣例に習う。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

14) 著者位置以外の場所における貢献者名: 作品自体に記述がない貢献者名の場合

(1) 著者位置以外の場所における貢献者名: 確実視されている貢献者があるが、作品に記述がない場合

[■阿賀沙多菜]

[S.■E.■Aga]

[Satana■E.■Aga]

[S.■E.■Aga■[Satana■Elisabeth]]■&■[S.■E.■Aga■[Satana■Elyse]]

[Satana■E.■Aga■[Elisabeth]]■&■[Satana■E.■Aga■[Elyse]]

[Jiaoda■Du■[■基督教大, ■基督教大]]

[Kyotae■Tok■[■독교대, ■トク・キョデ]]

[Jiaoda■Du■[■基督教大]]

[Kyotae■Tok■[■독교대]]

貢献者名を一人一人半角角括弧に囲って記述する。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

(2) 著者位置以外の場所における貢献者名: 推定貢献者名がいるが、作品に記述がなく、疑問も多いという場合

[■阿賀沙多菜?]

[S.■E.■Aga?]

[Satana■E.■Aga?]

[S.■E.■Aga■[Satana■Elisabeth]?]■&■[S.■E.■Aga■[Satana■Elyse]?]

[Satana■E.■Aga■[Elisabeth]]■&■[Satana■E.■Aga■[Elyse]]

[Jiaoda■Du■[■基督教大, ■基督教大]?]

[Kyotae■Tok■[■독교대, ■トク・キョデ]?]

[Jiaoda■Du■[■基督教大]?]

[Kyotae■Tok■[■독교대]]

貢献者名を一人一人半角角括弧に囲った上で、半角角括弧内の末尾に半

角疑問符を記述する。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

(3) 著者位置以外の場所における貢献者名: 確実視されているものの作品自体に記述のない貢献者が複数人いる場合

[阿賀沙多菜],[阿笠田奈],[阿伽紗棚],[伊木七荷],[井岸智荷],[宇楠つぬ]&[宇休須ツヌ]

[S.■E.■Aga],[T.■M.■Akasa],[S.■P.■Aky], [S.■T.■Igi],[C.■S.■M.■Ikishi],[T.■E.■Ukusu]&[T.■A.■Ukyusu]

[Satana■E.■Aga?],[Tana■M.■Akasa?],[Satana■P.■Aky],[Shichini■T.■Igi],[Chini■S.■M.■Ikishi],[Tsunu■E.■Ukusu?]&[Tsunu■A.■Ukyusu?]

一括して半角角括弧に囲うのではなく、貢献者名を一人一人半角角括弧に囲って記述する。

(4) 著者位置以外の場所における貢献者名: 作品に記述がなく疑問も多い推定貢献者名が複数いる場合

[阿賀沙多菜?],[阿笠田奈?],[阿伽紗棚?],[伊木七荷?],[井岸智荷?],[宇楠つぬ?]&[宇休須ツヌ?]

S.■E.■Aga?],[T.■M.■Akasa?],[S.■P.■Aky],[S.■T.■Igi],[C.■S.■M.■Ikishi],[T.■E.■Ukusu?]&[T.■A.■Ukyusu?]

[Satana■E.■Aga],[Tana■M.■Akasa],[Satana■P.■Aky],[Shichini■T.■Igi],[Chini■S.■M.■Ikishi],[Tsunu■E.■Ukusu]&[Tsunu■A.■Ukyusu]

一括して半角角括弧に囲うのではなく、貢献者名を一人一人半角角括弧に囲った上で、半角角括弧内の末尾に半角疑問符を記述する。

#### ■著者位置以外の場所の Contribution

各貢献者名には、それぞれ contribution を記述できる。

・著者位置以外の場所においては、

(1) 貢献者全体がすでに半角角括弧に囲われている場合は、その中の Contribution は半角角括弧に囲わずに記述する。

(2) 貢献者全体が半角角括弧に囲われていない場合は、その中の Contribution は半角角括弧に囲って記述する。

・著者位置以外では、各貢献者名はピリオドで終止しないので、当然各 Contribution もピリオドで終止しない。

#### 1) Contribution の兼任

貢献者の中には複数の Contribution を兼任しているものも多い。その場合は、

(1) G.■M.■Surname■(Executive■Producer),■G.■M.■Surname■(Producer ■&■Director), ■&■G.■M.■Surname■(Writer, ■Director■&■Performer)

(2) G.■M.■Surname, ■Executive■Producer, ■G.■M.■Surname, ■Producer ■&■Director, ■&■G.■M.■Surname, ■Writer, ■Director■&■Performer

のように記述する。貢献者が複数いる場合は、Contribution も複数形になる点に注意。Ed.は Eds.になるが、Translator の省略形 Trans.は単複同形なので、該当貢献者が複数いても形が変わらない。

#### 2) 複数貢献者による同一 Contribution の共有

複数の貢献者が同一の Contribution を共有している場合もあるが、その場合は同じ Contribution を各々に何度も記述するのではなく、

(1) G. M. Surname, & G. M. Surname (Supervising Eds.), & G. M. Surname, G. M. Surname, & G. M. Surname (Annotators, Eds. & Trans.)

(2) G. M. Surname, & G. M. Surname, Supervising Eds., & G. M. Surname, G. M. Surname, & G. M. Surname, Annotators, Eds. & Trans.

のように、一括して記述する。貢献者が複数いる場合は、Contribution も複数形になる点に注意。Ed.は Eds.になるが、Translator の省略形 Trans.は単複同形なので、該当貢献者が複数いても形が変わらない。

### 3) 複数貢献者による同一 Contribution の部分的共有

必然的に、完全に同じ Contribution を共有していない場合は上記のようにまとめた記述はできず、

(1) G. M. Surname, & G. M. Surname (Supervising Eds.), G. M. Surname, & G. M. Surname (Annotators, Eds. & Trans.), & G. M. Surname, & G. M. Surname (Annotators & Trans.)

(2) G. M. Surname, & G. M. Surname, Supervising Eds., G. M. Surname, & G. M. Surname, Annotators, Eds. & Trans., & G. M. Surname, & G. M. Surname, Annotators & Trans.

このように、それぞれ別グループとしてまとめる必要がある。

貢献者が複数いる場合は、Contribution も複数形になる点に注意。Ed.は Eds.になるが、Translator の省略形 Trans.は単複同形なので、該当貢献者が複数いても形が変わらない。

※Contribution は、基本的に作品に貢献した人物団体を列挙する場合に、それぞれを差別化するために必要になってくるものである。

そのため、原作者しか貢献者がいない作品の場合には、(Author)という contribution は記述する必要がない（特に断りのない場合は原作者に決まっているから）。

### ■ 収載巻貢献者の Contribution の代表例

Author (脚色本などの原作者) / Writer (脚本家) / Executive Producer (映像・舞台作品などの製作総指揮) / Producer (映像・舞台作品などのプロデューサー) / Chief Producer (映像・舞台作品などの複数プロデューサーの中で、特に差別化が必要な場合) / Director (映像・舞台作品などの監督) / Composer (作曲家) / Lyricist (作詞家) / Performer (歌手、演奏者、演技者) / Ed. (編集者) / Vol. Ed. (シリーズ中の1巻のみの編集者) / Series Ed. (シリーズ全体の編集者) / Supervising Ed. (監修者) / Trans. (翻訳者) / Transcriber (写本家) / Annotator (注釈者) / Adaptor (脚色者、編曲者、翻案者) / Speaker (話者、座談会参加者) / Interviewer (インタビュー聞き手) / Interviewee (インタビュー語り手) / Cartographer (地図製作者) / Chair (シンポジウムなどの司会) / Audiotypist (書き起こし者)、など。

Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。



## 4.2.2 収載巻貢献者全体の記述

### 1) 収載巻貢献者名 1

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICU の研究所』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoh C. Iroha, *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

### 2) 収載巻貢献者名 2～7

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 色輪ニホへ, 土時リヌル, 栢里ぬる, 和雅ヨタレ, 若代誰素, & 若依田れそ, 『ICU の研究所』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, N. E. Iroha, R. M. Doji, N. T. Tochiri, Y. P. Waga, T. C. Wakayo, & R. A. Wakayoda, *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoh C. Iroha, Nihoh E. Iroha, Rinuru M. Doji, Nuruwo T. Tochiri, Yotare P. Waga, Tareso C. Wakayo, & Reso A. Wakayoda, *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

■ 著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・ 日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・ それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・ 2 人列挙の場合では A, & B,

・3人以上の列挙では A, B, ... F, & G,

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は7人までで、8人以上いる場合は

A, B, C, D, E, F, . . . Z,

のように記述する。アンパサンドを使わずに6人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

#### ■ 収載巻貢献者の Contribution の代表例

Author（脚色本などの原作者）／Writer（脚本家）／Executive Producer（映像・舞台作品などの製作総指揮）／Producer（映像・舞台作品などのプロデューサー）／Chief Producer（映像・舞台作品などの複数プロデューサーの中で、特に差別化が必要な場合）／Director（映像・舞台作品などの監督）／Composer（作曲家）／Lyricist（作詞家）／Performer（歌手、演奏者、演技者）／Ed.（編集者）／Vol. Ed.（シリーズ中の1巻のみの編集者）／Series Ed.（シリーズ全体の編集者）／Supervising Ed.（監修者）／Trans.（翻訳者）／Transcriber（写本家）／Annotator（注釈者）／Adaptor（脚色者、編曲者、翻案者）／Speaker（話者、座談会参加者）／Interviewer（インタビュー聞き手）／Interviewee（インタビュー語り手）／Cartographer（地図製作者）／Chair（シンポジウムなどの司会）／Audiotypist（書き起こし者）、など。

Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

貢献者名2～6の場合は、上記の例から人数に合わせて前の方から貢献者名を削って行く。2人の場合だと以下ようになる。

阿井上緒, (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In 色葉にほへ、色輪ニホへ、土時リヌル、栴里ぬる、和雅ヨタレ、若代誰素、& 若依田れそ、『ICUの研究所』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版。

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In N. C. Iroha, N. E. Iroha, R. M. Doji, N. T. Techiri, Y. P. Waga, T. C. Wakayo, & R. A. Wakayoda, *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoho C. Iroha, Nihoho E. Iroha, Rinuru M. Doji, Nuruwo T. Techiri, Yotaro P. Waga, Tareso C. Wakayo, & Reso A. Wakayoda, *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

3 人の場合だと以下のようになる。

阿井上緒.(2003).「ジェンダー研究センター」(阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本)[Privately published book]. In 色葉にほへ, 色輪ニホへ, 土時リヌル, 栢里ぬる, 和雅ヨタレ, 若代誰素, & 若依田れそ, 『ICU の研究所』(pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, N. E. Irowa, R. M. Doji, N. T. Tochiri, Y. P. Waga, T. C. Wakayo, & R. A. Wakayoda, *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoho C. Iroha, Nihoho E. Irowa, Rinuru M. Doji, Nuruwo T. Tochiri, Yotare P. Waga, Tareso C. Wakayo, & Reso A. Wakayoda, *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

3) 収載巻貢献者名 8 以上

阿井上緒.(2003).「ジェンダー研究センター」(阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本)[Privately published book]. In 色葉にほへ, 色輪ニホへ, 土時リヌル, 栢里ぬる, 和雅ヨタレ, 若代誰素, . . . . 若依田れそ, 『ICU の研究所』(pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, N. E. Irowa, R. M. Doji, N. T. Tochiri, Y. P. Waga, T. C. Wakayo, . . . . R. A. Wakayoda, *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoho C. Iroha, Nihoho E. Irowa, Rinuru M. Doji, Nuruwo T. Tochiri, Yotare P. Waga, Tareso C. Wakayo, . . . . Reso A. Wakayoda, *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

■ 著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・2 人列挙の場合では A, & B,
- ・3 人以上の列挙では A, B, ... F, & G,

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A, B, C, D, E, F, . . . Z,

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

#### ■ 収載巻貢献者の Contribution の代表例

Author（脚色本などの原作者）／Writer（脚本家）／Executive Producer（映像・舞台作品などの製作総指揮）／Producer（映像・舞台作品などのプロデューサー）／Chief Producer（映像・舞台作品などの複数プロデューサーの中で、特に差別化が必要な場合）／Director（映像・舞台作品などの監督）／Composer（作曲家）／Lyricist（作詞家）／Performer（歌手、演奏者、演技者）／Ed.（編集者）／Vol. Ed.（シリーズ中の 1 巻のみの編集者）／Series Ed.（シリーズ全体の編集者）／Supervising Ed.（監修者）／Trans.（翻訳者）／Transcriber（写本家）／Annotator（注釈者）／Adaptor（脚色者、編曲者、翻案者）／Speaker（話者、座談会参加者）／Interviewer（インタビュー聞き手）／Interviewee（インタビュー語り手）／Cartographer（地図製作者）／Chair（シンポジウムなどの司会）／Audiotypist（書き起こし者）、など。

Ed. と Trans. はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

#### 4) 収載巻貢献者名 1 (Contribution あり)

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ (Ed.), 『ICU の研究所』 (pp. 8-100). Tokyo: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha (Ed.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoho. C. Iroha (Ed.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

掲載巻貢献者は全体を半角丸括弧で囲われていないので、Contribution を半角丸括弧に囲って記述することができる。

著者位置ではないため、貢献者名が、人名の場合は名→姓の順で、しかもピリオドで終止しないため、貢献者名と Contribution の半角角括弧との境には半角スペースしか置かれない。

Ed.の末尾ピリオドはEd.が Editor の省略であることを示すピリオドであり、ピリオドまでで一語であるため、APA の記述構造とは無関係に必要。

#### 5) 掲載巻貢献者名 2～7 (Contribution あり)

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 色輪二ホへ, 土時リヌル, 柄里ぬる, 和雅ヨタレ, 若代誰素, & 若依田れそ (Eds.), 『ICU の研究所』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, N. E. Iroha, R. M. Doji, N. T. Tochiri, Y. P. Waga, T. C. Wakayo, & R. A. Wakayoda (Eds.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoho C. Iroha, Nihoho E. Iroha, Rinuru M. Doji, Nuruwo T. Tochiri, Yotare P. Waga, Tareso C. Wakayo, & Reso A. Wakayoda (Eds.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、掲載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

該当者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

掲載巻貢献者は全体を半角丸括弧で囲われていないので、Contribution を半角丸括弧に囲って記述することができる。

著者位置ではないため、貢献者名が、人名の場合は名→姓の順で、しかもピリオドで終止しないため、貢献者名と Contribution の半角角括弧との境には半角スペースしか置かれない。

Ed.の末尾ピリオドはEd.が Editor の省略であることを示すピリオドであり、ピリオドまでで一語であるため、APA の記述構造とは無関係に必要。

#### ■ 著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・ 日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・ それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・ 2 人列挙の場合では A, & B,
- ・ 3 人以上の列挙では A, B, ... F, & G,

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は7人までで、8人以上いる場合は

A, B, C, D, E, F, . . . , Z,

のように記述する。アンパサンドを使わずに6人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

#### ■ 収載巻貢献者の Contribution の代表例

Author（脚色本などの原作者）／Writer（脚本家）／Executive Producer（映像・舞台作品などの製作総指揮）／Producer（映像・舞台作品などのプロデューサー）／Chief Producer（映像・舞台作品などの複数プロデューサーの中で、特に差別化が必要な場合）／Director（映像・舞台作品などの監督）／Composer（作曲家）／Lyricist（作詞家）／Performer（歌手、演奏者、演技者）／Ed.（編集者）／Vol. Ed.（シリーズ中の1巻のみの編集者）／Series Ed.（シリーズ全体の編集者）／Supervising Ed.（監修者）／Trans.（翻訳者）／Transcriber（写本家）／Annotator（注釈者）／Adaptor（脚色者、編曲者、翻案者）／Speaker（話者、座談会参加者）／Interviewer（インタビュー聞き手）／Interviewee（インタビュー語り手）／Cartographer（地図製作者）／Chair（シンポジウムなどの司会）／Audiotypist（書き起こし者）、など。

Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

貢献者名2～6の場合は、上記の例から人数に合わせて前の方から貢献者名を削って行く。2人の場合だと以下ようになる。

該当者が複数いれば、Contributionも複数形になる点に注意。

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 色輪ニホへ, 主時リヌル, 梶里ぬる, 和雅ヨタレ, 若代誰素, & 若依田れそ (Eds.), 『ICUの研究所』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, N. E. Iroha, R. M. Doji, N. T. Tochiri, Y. P. Waga, T. C. Wakayo, & R. A. Wakayoda (Eds.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoho C. Iroha, Nihoho E. Iroha, Rinuru M. Doji, Nuruwo T. Tochiri, Yotaro P. Waga, Tareso C. Wakayo, & Reso A. Wakayoda (Eds.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

3人の場合だと以下のようになる。

阿井上緒 (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 色輪二ホへ, 土時リヌル, 梶里ぬる, 和雅ヨタレ, 若代誰素, & 若依田れそ (Eds.), 『ICUの研究所』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, N. E. Irowa, R. M. Doji, N. T. Tochiri, Y. P. Waga, T. C. Wakayo, & R. A. Wakayoda (Eds.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoho C. Iroha, Nihoho E. Irowa, Rinuru M. Doji, Nuruwo T. Tochiri, Yotare P. Waga, Tareso C. Wakayo, & Reso A. Wakayoda (Eds.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

6) 収載巻貢献者名 8 以上 (Contribution あり)

阿井上緒 (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 色輪二ホへ, 土時リヌル, 梶里ぬる, 和雅ヨタレ, 若代誰素, . . . , 若依田れそ (Eds.), 『ICUの研究所』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, N. E. Irowa, R. M. Doji, N. T. Tochiri, Y. P. Waga, T. C. Wakayo, . . . , R. A. Wakayoda (Eds.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoho C. Iroha, Nihoho E. Irowa, Rinuru M. Doji, Nuruwo T. Tochiri, Yotare P. Waga, Tareso C. Wakayo, . . . , Reso A. Wakayoda (Eds.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

該当者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

収録巻貢献者は全体を半角丸括弧で囲われていないので、Contribution を半角丸括弧に囲って記述することができる。

著者位置ではないため、貢献者名が、人名の場合は名→姓の順で、しかもピリオドで終止しないため、貢献者名と Contribution の半角角括弧との境には半角スペースしか置かれない。

Ed.の末尾ピリオドはEd.が Editor の省略であることを示すピリオドであり、ピリオドまでで一語であるため、APA の記述構造とは無関係に必要。

■著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・2 人列挙の場合では A, & B,
- ・3 人以上の列挙では A, B, ... F, & G,

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A, B, C, D, E, F, ... Z,

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■収録巻貢献者の Contribution の代表例

Author（脚色本などの原作者）／Writer（脚本家）／Executive Producer（映像・舞台作品などの製作総指揮）／Producer（映像・舞台作品などのプロデューサー）／Chief Producer（映像・舞台作品などの複数プロデューサーの中で、特に差別化が必要な場合）／Director（映像・舞台作品などの監督）／Composer（作曲家）／Lyricist（作詞家）／Performer（歌手、演奏者、演技者）／Ed.（編集者）／Vol. Ed.（シリーズ中の 1 巻のみの編集者）／Series Ed.（シリーズ全体の編集者）／Supervising Ed.（監修者）／Trans.（翻訳者）／Transcriber（写本家）／Annotator（注釈者）／Adaptor（脚色者、編曲者、翻案者）／Speaker（話者、座談会参加者）／Interviewer（インタビュー聞き手）／Interviewee（インタビュー語り手）／Cartographer（地図製作者）／Chair（シンポジウムなどの司会）／Audiotypist（書き起こし者）、など。

Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

7) 収録巻貢献者名 2～7（様々な Contribution）

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ (Ed.), 色輪ニホヘ, & 土時リヌル (Interviewers), & 雨津ちほし, 雨土ホシ, 宙山河峰, 空山川みね (Annotators), 『ICU の研究所』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版.



- Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha N. (Ed.), E. Irowa, & R. M. Doji (Interviewers), & C. A. Ametsu, H. E. Ametsuchi, K. T. Sorayama, & M. P. Sorayamakawa (Annotators), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.
- Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha N. (Ed.), E. Irowa, & R. M. Doji (Interviewers), & Chihoshi A. Ametsu, Hoshi E. Ametsuchi, Kawamine T. Sorayama, & Mine P. Sorayamakawa (Annotators), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

※Eds.の末尾ピリオドは、Eds が Editors の省略形だということを示すためのもので、APA の記述構造とは無関係。

著者位置以外の場所の貢献者の Contribution が様々にある場合は、貢献者名はただアルファベット順に並べるのではなく、上記のように共通 Contribution ごとにまとめて記述する。

同一 Contribution グループ内では、貢献者名は50音順（日本語作品の場合）またはアルファベット順に並べる。

**■著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙**

- ・日本語作品の貢献者名は Surname の50音順
  - ・それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
  - ・2人列挙の場合では A, & B,
  - ・3人以上の列挙では A, B, ... F, & G,
- となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は7人までで、8人以上いる場合は

A, B, C, D, E, F, . . . Z,

のように記述する。アンパサンドを使わずに6人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

**■著者位置以外の場所での、同一 Contribution でまとめた貢献者グループの列挙**

- ・2グループ列挙の場合では GroupA, & GroupB
  - ・3グループ以上の列挙では GroupA, GroupB, ... GroupF, & GroupG
- となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような同一 Contribution グループの列挙は 7 グループまでで、8 グループ以上ある場合は

GroupA, GroupB, GroupC, GroupD, GroupE, GroupF, . . . GroupZ, のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 グループ目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。

また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。

該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

#### ■ 収載巻貢献者の Contribution の代表例

Author (脚色本などの原作者) / Writer (脚本家) / Executive Producer (映像・舞台作品などの製作総指揮) / Producer (映像・舞台作品などのプロデューサー) / Chief Producer (映像・舞台作品などの複数プロデューサーの中で、特に差別化が必要な場合) / Director (映像・舞台作品などの監督) / Composer (作曲家) / Lyricist (作詞家) / Performer (歌手、演奏者、演技者) / Ed. (編集者) / Vol. Ed. (シリーズ中の 1 巻のみの編集者) / Series Ed. (シリーズ全体の編集者) / Supervising Ed. (監修者) / Trans. (翻訳者) / Transcriber (写本家) / Annotator (注釈者) / Adaptor (脚色者、編曲者、翻案者) / Speaker (話者、座談会参加者) / Interviewer (インタビュー聞き手) / Interviewee (インタビュー語り手) / Cartographer (地図製作者) / Chair (シンポジウムなどの司会) / Audiotypist (書き起こし者)、など。

Ed. と Trans. はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

#### 8) 収載巻貢献者名 8 以上 (様々な Contribution)

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 色輪ニホへ, & 土時リヌル (Interviewers), & 雨津ちほし, 雨土ホシ, 宙山河峰, 空山川みね, 谷雲キリ, 湯和申緒, . . . 柚羽佐るお, (Annotators), 『ICU の研究所』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, N. E. Iroha, & R. M. Doji (Interviewers), & C. A. Ametsu, H. E. Ametsuchi, K. T. Sorayama, M. P. Sorayamakawa, K. M. Tanikumo, S. D. Yuwa, . . . R. C. Yuwasa, (Annotators), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoh C. Iroha, Nihoh E. Iroha, & R. M. Doji (Interviewers), & Chihoshi A. Ametsu, Hoshi E. Ametsuchi, Kawamine T. Sorayama, Mine P. Sorayamakawa, Kiri M. Tanikumo, Saruo D. Yuwa, . . . Ruo C. Yuwasa, (Annotators), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

貢献者の Contribution が様々にある場合は、貢献者名はただアルファベット順に並べるのではなく、上記のように共通 Contribution ごとにまとめて記述する。同一 Contribution グループ内では、貢献者名は 50 音順（日本語作品の場合）またはアルファベット順に並べる。

■著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・2 人列挙の場合では A, & B,
- ・3 人以上の列挙では A, B, ... F, & G,

となる。  
アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A, B, C, D, E, F, . . . Z,

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■著者位置以外の場所での、同一 Contribution でまとめた貢献者グループの列挙

- ・2 グループ列挙の場合では GroupA, & GroupB
- ・3 グループ以上の列挙では GroupA, GroupB, ... GroupF, & GroupG

となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような同一 Contribution グループの列挙は 7 グループまでで、8

グループ以上ある場合は  
GroupA, GroupB, GroupC, GroupD, GroupE, GroupF, . . . GroupZ,

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 グループ目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。

また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。

該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■収載巻貢献者の Contribution の代表例

Author（脚色本などの原作者）／Writer（脚本家）／Executive Producer（映像・舞台作品などの製作総指揮）／Producer（映像・舞台作品などのプロデューサー）／Chief Producer（映像・舞台作品などの複数プロデューサーの中で、特に差別化が必要な場合）／Director（映像・舞台作品などの監督）／Composer（作曲家）／Lyricist（作詞家）／Performer（歌手、演奏者、演技者）／Ed.（編集者）／Vol. Ed.（シリーズ中の 1 巻のみの編集者）／Series Ed.（シリーズ全体の編集者）／Supervising

■Ed. (監修者) / Trans. (翻訳者) / Transcriber (写本家) / Annotator (注釈者) / Adaptor (脚色者、編曲者、翻案者) / Speaker (話者、座談会参加者) / Interviewer (インタビュー聞き手) / Interviewee (インタビュー語り手) / Cartographer (地図製作者) / Chair (シンポジウムなどの司会) / Audiotypist (書き起こし者)、など。  
Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

#### 9) 様々な Contribution / Contribution の兼任

- 阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ (Supervising Ed.), 色輪ニホへ & 土時リヌル (Supervising Eds. & Interviewers), & 雨津ちほし, 雨土ホシ, 宙山河峰, 空山川みね, 谷雲キリ, 湯和申緒, . . . 袖羽佐るお, (Annotators), 『ICU の研究所』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版.
- Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha (Supervising Ed.), N. E. Irowa, & R. M. Doji (Supervising Eds. & Interviewers), & C. A. Ametsu, H. E. Ametsuchi, K. T. Sorayama, M. P. Sorayamakawa, K. M. Tanikumo, S. D. Yuwa, . . . R. C. Yuwasa, (Annotators), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.
- Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoho C. Iroha (Supervising Ed.), Nihoho E. Irowa, & R. M. Doji (Supervising Eds. & Interviewers), & Chihoshi A. Ametsu, Hoshi E. Ametsuchi, Kawamine T. Sorayama, Mine P. Sorayamakawa, Kiri M. Tanikumo, Saruo D. Yuwa, . . . Ruo C. Yuwasa, (Annotators), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

※Eds.の末尾ピリオドは、Eds が Editors の省略形だということを示すためのもので、APA の記述構造とは無関係。

貢献者の Contribution が様々にある場合は、貢献者名はただアルファベット順に並べるのではなく、上記のように共通 Contribution ごとにまとめて記述するが、Contribution が完全に一致していない場合は、一つのグループにまとめることはできない。

上記の例では Supervising Ed.と Supervising Eds. & Annotators は、完全に一致していないため別のグループとしてくくられている。

同一 Contribution グループ内では、貢献者名は 50 音順 (日本語作品の場合) またはアルファベット順に並べる。

■著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・2 人列挙の場合では A, ■&■B, ■
- ・3 人以上の列挙では A, ■B, ■...■F, ■&■G, ■

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A, ■B, ■C, ■D, ■E, ■F, ■...■G, ■H, ■I, ■J, ■K, ■L, ■M, ■N, ■O, ■P, ■Q, ■R, ■S, ■T, ■U, ■V, ■W, ■X, ■Y, ■Z, ■

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■著者位置以外の場所での、同一 Contribution でまとめた貢献者グループの列挙

- ・2 グループ列挙の場合では GroupA, ■&■GroupB ■
  - ・3 グループ以上の列挙では GroupA, ■GroupB, ■...■GroupF, ■&■GroupG ■
- となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような同一 Contribution グループの列挙は 7 グループまでで、8 グループ以上ある場合は

GroupA, ■GroupB, ■GroupC, ■GroupD, ■GroupE, ■GroupF, ■...■GroupG, ■GroupH, ■GroupI, ■GroupJ, ■GroupK, ■GroupL, ■GroupM, ■GroupN, ■GroupO, ■GroupP, ■GroupQ, ■GroupR, ■GroupS, ■GroupT, ■GroupU, ■GroupV, ■GroupW, ■GroupX, ■GroupY, ■GroupZ, ■

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 グループ目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。

また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。

該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■著者位置以外の場所での Contribution の列挙は

Contribution がいくつか兼任されている場合は、

- ・Contribution を半角角括弧で囲う場合は
  - ・2 つの列挙で (ContributionA ■&■ContributionB)、
  - ・3 つ以上だと (ContributionA, ■ContributionB, ■...■ContributionY ■&■ContributionZ)
- ・Contribution を半角角括弧で囲わない場合は、
  - ・2 つの列挙で ContributionA ■&■ContributionB、
  - ・ContributionA, ■ContributionB, ■...■ContributionY ■&■ContributionZ

のように、いずれもアンパサンド前にカンマを打たずに記述する（ここが貢献者名の列挙と違うので注意）。

Contribution は貢献者名と違って、8 以上あっても ■.■.■.■で省略しない。該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■収録巻貢献者の Contribution の代表例

Author（脚色本などの原作者）／Writer（脚本家）／Executive ■Producer

(映像・舞台作品などの製作総指揮) / Producer (映像・舞台作品などのプロデューサー) / Chief Producer (映像・舞台作品などの複数プロデューサーの中で、特に差別化が必要な場合) / Director (映像・舞台作品などの監督) / Composer (作曲家) / Lyricist (作詞家) / Performer (歌手、演奏者、演技者) / Ed. (編集者) / Vol. Ed. (シリーズ中の1巻のみの編集者) / Series Ed. (シリーズ全体の編集者) / Supervising Ed. (監修者) / Trans. (翻訳者) / Transcriber (写本家) / Annotator (注釈者) / Adaptor (脚色者、編曲者、翻案者) / Speaker (話者、座談会参加者) / Interviewer (インタビュー聞き手) / Interviewee (インタビュー語り手) / Cartographer (地図製作者) / Chair (シンポジウムなどの司会) / Audiotypist (書き起こし者)、など。  
Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

#### 4.3 Whole work title (収載巻タイトル)

##### 1) 通常のタイトル

- 阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ (Ed.), 『ICUの研究所』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版.
- Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha (Ed.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.
- Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoh C. Iroha (Ed.), *Research institutes of ICU* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

収載巻タイトルは、日本語の場合は二重かぎ括弧に囲って (イタリサイズはしない)、日本語以外の場合はイタリサイズして記述する (コーテーションマークなどは記述しない)。

ローマ字語の場合、

- ・ タイトルの一番最初の文字
  - ・ 固有名詞の一番最初の文字
  - ・ abbreviation の大文字になっている部分を大文字にする (International Christian University → ICU の場合、記述は「ICU」となり、Icuにはしない)。
- 作品の記述が、一番最初の文字以外も大文字になっている場合でも、References では大文字にしない。

○ Center for gender studies

× Center for Gender Studies

引用作品に収載巻がある場合はイタリサイズや二重かぎ括弧を収載巻タイトルに使用するため、引用作品タイトルの方の記述が変化することに注意。

**具体的な変更点は、**

- 日本語の引用作品タイトルを、二重かぎ括弧から一重かぎ括弧に囲み

直さなくてはならない。

●日本語以外の引用作品タイトルをイタリサイズから標準に戻さなくてはならない。  
という2点である。

2) 収載巻タイトルが2つのパートで成り立っている場合

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In 色葉にほへ (Ed.), 『ICUの研究所: 人文・社会科学系』 (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha (Ed.), *Research institutes of ICU: Humanities and social sciences* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoh C. Iroha (Ed.), *Research institutes of ICU: Humanities and social sciences* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

記述は以下のようになる。

日本語…『収載巻タイトル: サブタイトル』.

英語……Whole work title: Sub title.

タイトルとサブタイトルは「:」でつなぐ。

英語の場合、APA 論文作成マニュアルでは、タイトルの先頭に来た文字のみ大文字にするという決まりがあるが、固有名詞やサブタイトルの先頭も大文字にする。

3) 収載巻タイトルが3つのパートで成り立っている場合

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ (Ed.), 『ICUの研究所: 現状と課題: 人文・社会科学系』 (pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha (Ed.), *Research institutes of ICU: Now and the future: Humanities and social sciences* (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoh C.

Iroha (Ed.), Research institutes of ICU: Now and the future: Humanities and social sciences (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

この例では、

日本語…『収載巻タイトル:サブタイトル:サブサブタイトル』.

英語……Whole work title: Sub title: Sub-sub title.

と、結果的に3部に分かれたタイトル記述となっている。

#### 4) 引用作品および収載巻が英語・日本語以外の言語によって制作された原語版の場合

Guo, Jiji. [国际基]. (2003). 社会性别研究中心 [ジェンダー研究センター] (Jiaoyang Xue [学教养], Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Jiaoda Du [督教大] (Ed.), 国际基督教大学的研究中心 [ICUの研究所] (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Kuk, Cheki. [국제기]. (2003). 젠더연구센터 [ジェンダー研究センター] (Hak Kyoyang [학교양], Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Kyotae Tok [독교대] (Ed.), 국제기독교대학연구소 [ICUの研究所] (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Guo, Jiji. [国际基]. (2003). 社会性别研究中心 [ICU center for gender studies] (Jiaoyang Xue [学教养], Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Jiaoda Du [督教大] (Ed.), 国际基督教大学的研究中心 [Research institutes of ICU] (pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Kuk, Cheki. [국제기]. (2003). 젠더연구센터 [ICU center for gender studies] (Hak Kyoyang [학교양], Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Kyotae Tok [독교대] (Ed.), 국제기독교대학연구소 [Research institutes of ICU]. Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

日本語・英語に翻訳されていないものの場合、原語の如何にかかわらずタイトルは原語で記述し、直後に半角角括弧に囲った形でタイトルの訳を記述する。

※可能な場合は

[原語タイトルのローマ字音転写, 原語タイトルの翻訳]

という形でタイトルのローマ字音転写を記述してもかまわないが、これは必須ではない。



原語タイトルの翻訳は、日本語で論文を執筆している場合は日本語訳か英語訳を、英語で論文を執筆している場合は英語訳を記述する。**半角角括弧までがひと固まりでタイトルとなるので、半角スペース以外の他の要素（引用作品補足情報など）を間に挿入してはならない。**※上2つが日本語論文における記述法（原語タイトルの日本語訳が付記されている）、下2つが英語・日本語論文における記述法（原語タイトルの英語訳が付記されている。日本語論文でも使用可能な記述）。

収載巻貢献者に関しては、日本語・英語に翻訳されていないものの場合、原語の如何にかかわらず貢献者名はローマ字転写で記述し、その後半角角括弧に囲った形で貢献者名の原語表記を記す。原語による貢献者名の記述の際、姓名の順は原語の慣例に習う。

#### 4.4 Whole work additional information (収載巻補足情報) (あれば)

##### 4.4.1 収載巻補足貢献者 (あれば)

重要度などから判断して収載巻貢献者で記述しなかった貢献者を、収載巻タイトル直後から始まる**収載巻補足情報**の半角丸括弧内に記述できる。

**収載巻補足情報**がある場合は、タイトルの直後にピリオドを打ってはならない。タイトル直後に半角スペースを挟んだだけですぐ、半角丸括弧で囲って**収載巻補足情報**を記述する。

**収載巻の貢献者は、基本的に全員収載巻貢献者で記述するのが普通なので、ここで記述される例はまれ。**

##### 4.4.1.1 収載巻補足貢献者: 著者位置位置以外における人名: Templates

<p>■ 著者位置以外の場所での貢献者名 (人名) の構成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ Given names を (Middle name(s)がある場合はそれらも全て) イニシャルで</li><li>・ Surname</li><li>・ Suffix (Jr.や III などがある場合のみ)</li></ul> <p>の3部によって、この順で構成される。</p> <p><u>著者位置以外の場所においては、貢献者名は名→姓の順で記述する (日本語人名・日本語に転写された人名を除く)。</u></p> <p>※当紀要への投稿論文では、必ずしも Given name をイニシャルに省略する必要はないが (日本語人名や日本語に転写された人名では、そもそもイニシャルにできない)、論文を通して省略するかしないかについて統一されている必要がある。また、Given name をイニシャル化しない場合でも、Middle names は必ずイニシャル化すること (e.g., S. ■ E. ■ Aga と Satana ■ E. ■ Aga)</p> <p><u>○これら人名の各構成要素はピリオド等で終止せず、またそれぞれの要素間は、著者位置と違い、カンマを打たずにただ半角スペースで区切る (日本語人名除く)。</u></p> <p>Given name・Middle name(s)のイニシャルや Jr の直後のピリオドは、一見これら要素の終了のようにも見えるが、実際はそれらが省略形であることを意味するだけのものである (ピリオドを打つのは Suffix では Jr だけで III 以降はピリオドなし)。</p>
---

著者位置とは違って、各貢献者名一人一人（一団体一団体）の末尾には、貢献者名の終止を意味するピリオドを打たない。 Given name・Middle name(s)のイニシャルや Jr が省略形であることを意味するピリオドが、一見貢献者名の終止ピリオドのようにも見えるが、実際はそれらが省略形であることを意味するだけのものである（ピリオドを打つのは Suffix では Jr だけで III 以降はピリオドなし）。

■著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
  - ・それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
  - ・2 人列挙の場合では A, ■&■B, ■
  - ・3 人以上の列挙では A, ■B, ■...■F, ■&■G, ■
- となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A, ■B, ■C, ■D, ■E, ■F, ■...■G, ■Z, ■

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■著者位置以外の場所での、同一 Contribution でまとめた貢献者グループの列挙

- ・2 グループ列挙の場合では GroupA, ■&■GroupB ■
  - ・3 グループ以上の列挙では GroupA, ■GroupB, ■...■GroupF, ■&■GroupG ■
- となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような同一 Contribution グループの列挙は 7 グループまでで、8 グループ以上ある場合は

GroupA, ■GroupB, ■GroupC, ■GroupD, ■GroupE, ■GroupF, ■...■GroupZ, ■

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 グループ目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。

また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。

該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■著者位置以外の場所での Contribution の列挙は

Contribution がいくつか兼任されている場合は、

- ・Contribution を半角角括弧で囲う場合は
  - ・2 つの列挙で(ContributionA ■&■ContributionB)、
  - ・3 つ以上だと(ContributionA, ■ContributionB, ■...■ContributionY ■&■ContributionZ)
- ・Contribution を半角角括弧で囲わない場合は、
  - ・2 つの列挙で ContributionA ■&■ContributionB、
  - ・ContributionA, ■ContributionB, ■...■ContributionY ■&■ContributionZ

のように、いずれもアンパサンド前にカンマを打たずに記述する（ここ

が貢献者名の列挙と違うので注意)。  
Contribution は貢献者名と違って、8 以上あっても ■.■.■.■ で省略しない。  
該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

#### ■ 著者位置以外の場所での人名のバリエーション

##### 1) 著者位置以外の場所における貢献者が通常の人名の場合

阿賀沙多菜

S.■E.■Aga

Satana■E.■Aga

##### 2) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname に接頭辞 (O や Mc) がつく場合

M.■A.■MacNeil

Maria■A.■MacNeil

M.■A.■McArthur

Maria■A.■McArthur

M.■A.■O'Connell

Maria■A.■O'Connell

接頭辞の記述は、引用した作品の記述に倣うこと。

##### 3) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname に前置詞 (de や van) がつく場合

R.■H.■van■Rijn

Rembrandt■H.■van■Rijn

P.■de■Champaigne

Philippe■de■Champaigne

M.■Q.■de■La■Tour

Maurice■Q.■de■La■Tour

F.■von■Stuck

Franz■von■Stuck

接続詞なども、省略せずに記述する。

##### 4) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname が複数の語に分かれている場合

H.■Rodham■Clinton

Hillary■Rodham■Clinton

Surname が複数の語によって成り立っている場合は、それをそのまま記述する。

##### 5) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合

A.■Labille-Guiard

Adelaide■Labille-Guiard

貢献者名の Surname が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合でも、それをそのまま記述する。

6) 著者位置以外の場所における貢献者名の Surname に Suffix (Jr. や III) がつく場合

S. ■ E. ■ Aga ■ III

Satana ■ E. ■ Aga ■ Jr.

Jr の末尾ピリオドは、Jr が省略形であることを示す末尾ピリオドである。

7) 著者位置以外の場所における貢献者名の Given name や Middle name(s) が複数の語に分かれてハイフンでつながれている場合

J.-B. ■ Lamour

Jean-Baptiste ■ Lamour

イニシャル化をする場合は、ハイフンの前後両方共をイニシャル化する。

8) 著者位置以外の場所における貢献者名が Surname ・ Given name ・ Middle names という構成要素で成り立っていない人名の場合

Samirah ■ bint ■ Ibrahim ■ bin ■ Hamad ■ Al-Ibrahim

著者位置以外の場所では、原語での記述順に、要素ごとに半角スペースで区切って記述する。

ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s) をイニシャル化しなくて良い

9) 著者位置以外の場所における貢献者名が日本語転写された貢献者名の場合（翻訳作品を除く）

(1) 著者位置以外の場所における貢献者名がカタカナ転写の場合

サタナ・E・アガ

サタナ・エリザベス・アガ

サタナ・E.=アガ

サタナ・エリザベス=Aガ

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、各要素間にはスペースを挟まず、代わりに中黒を打って記述する。=記号が使用されている場合は、それもそのまま記述。**カタカナ転写の場合は、中黒は必須。**

(2) 著者位置以外の場所における貢献者名が日本式漢字への転写の場合

魯迅.

司馬遷.

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、日本語人名と同じく**中黒は打たない。**

(3) 著者位置以外の場所における貢献者名がカタカナ転写・日本式漢字転写・ローマ字表記などが混交した転写の場合

エリザベス阿賀沙多菜

エリザベス・阿賀・沙多菜

Elisabeth 阿賀沙多菜

姓名の順は作品に記述されている通りのまま、中黒に関しても作品の記述に倣う。**作品の記述に中黒がない場合は打たなくて良い。**

10) 著者位置以外の場所における貢献者名が、Given name・Middle name(s)をイニシャル化した結果、同姓異名の著者の区別がつかなくなってしまった場合

S.■E.■Aga■[Satana■Elisabeth]

S.■E.■Aga■[Satana■Elyse]

または、

Satana■E.■Aga■[Elisabeth]

Satana■E.■Aga■[Elyse]

区別がつかない貢献者たちだけ、貢献者名直後に半角角括弧で囲った形で、イニシャル化しない Given name と Middle name(s)を記述する。

11) 著者位置以外の場所における貢献者名: 引用作品が日本語以外の言語から日本語に翻訳されたものの場合

Jiaoda■Du■[督教大,督教大]

Kyotae■Tok■[독교대,トク・キョデ]

・貢献者名のローマ字記述 (原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない /ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い)

・原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名, 貢献者名の日本語転写]の2つを記述する。原語による貢献者名の記述の際、姓名の順は原語の慣例に習う。貢献者名の日本語転写は 9)を参照のこと。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

12) 著者位置以外の場所における貢献者名: 引用作品が英語以外の言語から英語に翻訳されたものの場合

Jiaoda■Du■[督教大]

Kyotae■Tok■[독교대]

・貢献者名のローマ字記述 (原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない /ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い)

・原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名]を記述する。姓名の順は原語の慣例に習う。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

13) 著者位置以外の場所における貢献者名: 引用作品が英語・日本語以外の言語によって制作された原語版の場合

Jiaoda■Du■[督教大]

Kyotae■Tok■[독교대]

・貢献者名のローマ字記述 (原語がローマ字語でない場合、ローマ字転写の Given name や Middle name(s)は、イニシャル化してはならない /ローマ字語でも、人名の構造が英語氏名とかけ離れている場合は、Middle name(s)をイニシャル化しなくて良い)

・原語がローマ字語でない場合、直後に半角角括弧で囲って、[原語による貢献者名]を記述する。姓名の順は原語の慣例に習う。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

14) 著者位置以外の場所における貢献者名: 作品自体に記述がない貢献者名の場合

(1) 著者位置以外の場所における貢献者名: 確実視されている貢献者があるが、作品に記述がない場合

[阿賀沙多菜]

[S.■E.■Aga]

[Satana■E.■Aga]

[S.■E.■Aga■[Satana■Elisabeth]]■&■[S.■E.■Aga■[Satana■Elyse]]

[Satana■E.■Aga■[Elisabeth]]■&■[Satana■E.■Aga■[Elyse]]

[Jiaoda■Du■[■基督教大, ■基督教大]]

[Kyotae■Tok■[■독교대, ■トク・キョデ]]

[Jiaoda■Du■[■基督教大]]

[Kyotae■Tok■[■독교대]]

貢献者名を一人一人半角角括弧に囲って記述する。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

(2) 著者位置以外の場所における貢献者名: 推定貢献者名がいるが、作品に記述がなく、疑問も多いという場合

[阿賀沙多菜?]

[S.■E.■Aga?]

[Satana■E.■Aga?]

[S.■E.■Aga■[Satana■Elisabeth]?]■&■[S.■E.■Aga■[Satana■Elyse]?]

[Satana■E.■Aga■[Elisabeth]]■&■[Satana■E.■Aga■[Elyse]]

[Jiaoda■Du■[■基督教大, ■基督教大]?]

[Kyotae■Tok■[■독교대, ■トク・キョデ]?]

[Jiaoda■Du■[■基督教大]?]

[Kyotae■Tok■[■독교대]]

貢献者名を一人一人半角角括弧に囲った上で、半角角括弧内の末尾に半角疑問符を記述する。半角角括弧の直後にもピリオドを打たない。

(3) 著者位置以外の場所における貢献者名: 確実視されているものの作品自体に記述のない貢献者が複数人いる場合

[阿賀沙多菜], [阿笠田奈], [阿伽紗棚], [伊木七荷], [井岸智荷], [宇楠つぬ]■&■[宇休須ツヌ]

[S.■E.■Aga], [T.■M.■Akasa], [S.■P.■Akya], [S.■T.■Igi], [C.■S.■M.■Ikishi], [T.■E.■Ukusu]■&■[T.■A.■Ukyusu]

[Satana■E.■Aga?], [Tana■M.■Akasa?], [Satana■P.■Akya?], [Shichini■T.■Igi?], [Chini■S.■M.■Ikishi?], [Tsunu■E.■Ukusu?]■&■[Tsunu■A.■Ukyusu?]

一括して半角角括弧に囲うのではなく、貢献者名を一人一人半角角括弧に囲って記述する。

(4) 著者位置以外の場所における貢献者名: 作品に記述がなく疑問も多い推定貢献者名が複数いる場合

[阿賀沙多菜?], [阿笠田奈?], [阿伽紗棚?], [伊木七荷?], [井岸智荷?],

[宇楠つめ?]&[宇休須ツヌ?]  
 S.■E.■Aga?],[T.■M.■Akasa?],[S.■P.■Akyu?],[S.■T.■Igi?],[C.■S.■  
 M.■Ikishi?],[T.■E.■Ukusu?]&[T.■A.■Ukyusu?]  
 [Satana■E.■Aga],[Tana■M.■Akasa],[Satana■P.■Akyu],[Shichini■T.  
 ■Igi],[Chini■S.■M.■Ikishi],[Tsunu■E.■Ukusu]&[Tsunu■A.■Ukyusu]  
 一括して半角角括弧に囲うのではなく、貢献者名を一人一人半角角括弧  
 に囲った上で、半角角括弧内の末尾に半角疑問符を記述する。

■著者位置以外の場所の Contribution

各貢献者名には、それぞれ contribution を記述できる。

- ・著者位置以外の場所においては、
  - (1) 貢献者全体がすでに半角角括弧に囲われている場合は、その中の Contribution は半角角括弧に囲わずに記述する。
  - (2) 貢献者全体が半角角括弧に囲われていない場合は、その中の Contribution は半角角括弧に囲って記述する。
- ・著者位置以外では、各貢献者名はピリオドで終止しないので、当然各 Contribution もピリオドで終止しない。

1) Contribution の兼任

貢献者の中には複数の Contribution を兼任しているものも多い。その場合は、

- (1) G.■M.■Surname■(Executive■Producer),■G.■M.■Surname■(Producer ■&■Director),■&■G.■M.■Surname■(Writer,■Director■&■Performer)
  - (2) G.■M.■Surname,■Executive■Producer,■G.■M.■Surname,■Producer■&■Director,■&■G.■M.■Surname,■Writer,■Director■&■Performer
- のように記述する。貢献者が複数いる場合は、Contribution も複数形になる点に注意。Ed.は Eds.になるが、Translator の省略形 Trans.は単複同形なので、該当貢献者が複数いても形が変わらない。

2) 複数貢献者による同一 Contribution の共有

複数の貢献者が同一の Contribution を共有している場合もあるが、その場合は同じ Contribution を各々に何度も記述するのではなく、

- (1) G.■M.■Surname,■&■G.■M.■Surname■(Supervising■Eds.),■&■G.■M.■Surname,■G.■M.■Surname,■&■G.■M.■Surname■(Annotators,■Eds.■&■Trans.)
- (2) G.■M.■Surname,■&■G.■M.■Surname,■Supervising■Eds.,■&■G.■M.■Surname,■G.■M.■Surname,■&■G.■M.■Surname,■Annotators,■Eds.■&■Trans.

のように、一括して記述する。貢献者が複数いる場合は、Contribution も複数形になる点に注意。Ed.は Eds.になるが、Translator の省略形 Trans.は単複同形なので、該当貢献者が複数いても形が変わらない。

3) 複数貢献者による同一 Contribution の部分的共有

必然的に、完全に同じ Contribution を共有していない場合は上記のようにまとめた記述はできず、

- (1) G.■M.■Surname,■&■G.■M.■Surname■(Supervising■Eds.),■G.■M.■Surname,■&■G.■M.■Surname■(Annotators,■Eds.■&■Trans.),■&■G.■M.■

Surname, & G. M. Surname (Annotators & Trans.)

(2) G. M. Surname, & G. M. Surname, Supervising Eds., G. M. Surname, & G. M. Surname, Annotators, Eds. & Trans., & G. M. Surname, & G. M. Surname, Annotators & Trans.

このように、それぞれ別グループとしてまとめる必要がある。

貢献者が複数いる場合は、Contribution も複数形になる点に注意。Ed. は Eds.になるが、Translator の省略形 Trans.は単複同形なので、該当貢献者が複数いても形が変わらない。

※Contribution は、基本的に作品に貢献した人物団体を列挙する場合に、それぞれを差別化するために必要になってくるものである。

そのため、原作者しか貢献者がいない作品の場合には、(Author)という contribution は記述する必要がない（特に断りのない場合は原作者に決まっているから）。

#### ■ 収載巻補足貢献者の Contribution の代表例

Author（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に原作者がいる場合）／  
Writer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に脚本家がいる場合）／  
Executive Producer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に製作総指揮がいる場合）／  
Producer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にプロデューサーがいる場合）／  
Chief Producer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にチーフプロデューサーがいる場合）／  
Director（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に監督がいる場合）／  
Composer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に作曲家がいる場合）／  
Lyricist（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に作詞家がいる場合）／  
Performer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に歌唱・演奏・演技者がいる場合）／  
Ed.（収載巻に著者位置の貢献者とは別に編集者がいる場合）／  
Vol. Ed.（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ中の一巻のみの編集者がいる場合）／  
Series Ed.（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ全体の編集者がいる場合）／  
Supervising Ed.（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に監修者がいる場合）／  
Trans.（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に翻訳者がいる場合）／  
Transcriber（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に手書き写本家がいる場合）／  
Annotator（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に注釈者がいる場合）／  
Adaptor（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に脚色者や編曲者がいる場合）／  
Speaker（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に話者、座談会参加者がいる場合）／  
Interviewer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー聞き手がいる場合）／  
Interviewee（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー語り手がいる場合）／  
Cartographer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に地図製作者がいる場合）／  
Chair（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にシンポジウムなどの司会がいる場合）／  
Audiotypist（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に書き起こし者がいる場合）、などである。

Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。



#### 4.4.1.2 収載巻補足貢献者全体の記述

##### 1) 収載巻補足貢献者の貢献者名 1 (Contribution あり)

阿井上緒.(2003).「ジェンダー研究センター」(阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本)[Privately published book]. In 色葉にほへ (Supervising Ed.), 『ICU の研究所』 (雨津ちほし, Ed., pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha (Supervising Ed.), *Research institutes of ICU* (C. A. Ametsu, Ed., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihohé C. Iroha (Supervising Ed.), *Research institutes of ICU* (Chihoshi A. Ametsu, Ed., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

○収載巻補足情報全体が半角丸括弧に囲われているため、ここでは括弧の多階層化を避けるため各 contribution は半角丸括弧で囲わない。

##### 2) 収載巻補足貢献者の貢献者名 2~7 (Contribution あり)

阿井上緒.(2003).「ジェンダー研究センター」(阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本)[Privately published book]. In 色葉にほへ (Supervising Ed.), 『ICU の研究所』 (雨津ちほし, 雨土ホシ, 宙山河峰, 空山川みね, 谷雲キリ, 湯和申緒, & 袖羽佐るお, Eds., pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha (Supervising Ed.), *Research institutes of ICU* (C. A. Ametsu, H. E. Ametsuchi, K. T. Sorayama, M. P. Sorayamakawa, K. M. Tanikumo, S. D. Yuwa, & R. C. Yuwasa, Eds., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihohé C. Iroha (Supervising Ed.), *Research institutes of ICU* (Chihoshi A. Ametsu, Hoshi E. Ametsuchi, Kawamine T. Sorayama, Mine P. Sorayamakawa, Kiri M. Tanikumo, Saruo D. Yuwa, & Ruo C. Yuwasa, Eds., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

※Eds.の末尾ピリオドは、Eds が Editors の省略形だということを示すためのもので、APA の記述構造とは無関係。

○**収載巻補足情報**全体が半角丸括弧に囲われているため、ここでは括弧の多階層化を避けるため各 contribution は半角丸括弧で囲わない。

■**著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙**

- ・日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
  - ・それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
  - ・2 人列挙の場合では A, & B,
  - ・3 人以上の列挙では A, B, ... F, & G,
- となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A, B, C, D, E, F, ... Z,

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで列挙して、その後スペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■**収載巻補足貢献者の Contribution の代表例**

Author（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に原作者がいる場合）／  
Writer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に脚本家がいる場合）／  
Executive Producer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に製作総指揮がいる場合）／  
Producer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にプロデューサーがいる場合）／  
Chief Producer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にチーフプロデューサーがいる場合）／  
Director（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に監督がいる場合）／  
Composer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に作曲家がいる場合）／  
Lyricist（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に作詞家がいる場合）／  
Performer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に歌唱・演奏・演技者がいる場合）／  
Ed.（収載巻に著者位置の貢献者とは別に編集者がいる場合）／  
Vol. Ed.（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ中の一巻のみの編集者がいる場合）／  
Series Ed.（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ全体の編集者がいる場合）／  
Supervising Ed.（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に監修者がいる場合）／  
Trans.（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に翻訳者がいる場合）／  
Transcriber（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に手書き写本家がいる場合）／  
Annotator（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に注釈者がいる場合）／  
Adaptor（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に脚色者や編曲者がいる場合）／  
Speaker（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に話者、座談会参加者がいる場合）／  
Interviewer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー聞き手がいる場合）／  
Interviewee（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー語り手がいる場合）／  
Cartographer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に地図製作者がいる場合）／  
Chair（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にシンポジウムなどの司会がいる場合）／  
Audiotypist（収

載巻に、著者位置の貢献者とは別に書き起こし者がいる場合)、などである。  
Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

著者位置以外の場所における貢献者名 2~6 の場合は、上記の例から人数に合わせて前の方から貢献者名を削って行く。2 人の場合だと以下ようになる。

- 阿井上緒。(2003)。「ジェンダー研究センター」(阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本)[Privately published book]. In 色葉にほへ (Supervising Ed.), 『ICU の研究所』 (雨津ちほし, 雨主ホシ, 宙山河峰, 空山川みね, 谷雲キリ, 湯和申緒, & 柚羽佐るお, Eds., pp. 8-100). 東京: CGS 出版.
- Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan)[Privately published book]. In N. C. Iroha (Supervising Ed.), *Research institutes of ICU* (C. A. Ametsu, H. E. Ametsuchi, K. T. Sorayama, M. P. Sorayamakawa, K. M. Tanikumo, S. D. Yuwa, & R. C. Yuwasa, Eds., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.
- Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan)[Privately published book]. In Nihoh C. Iroha (Supervising Ed.), *Research institutes of ICU* (Chihoshi A. Ametsu, Hoshi E. Ametsuchi, Kawamine T. Sorayama, Mine P. Sorayamakawa, Kiri M. Tanikumo, Saruo D. Yuwa, & Ruo C. Yuwasa, Eds., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

3 人の場合だと以下ようになる。

- 阿井上緒。(2003)。「ジェンダー研究センター」(阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本)[Privately published book]. In 色葉にほへ (Supervising Ed.), 『ICU の研究所』 (雨津ちほし, 雨主ホシ, 宙山河峰, 空山川みね, 谷雲キリ, 湯和申緒, & 柚羽佐るお, Eds., pp. 8-100). 東京: CGS 出版.
- Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan)[Privately published book]. In N. C. Iroha (Supervising Ed.), *Research institutes of ICU* (C. A. Ametsu, H. E. Ametsuchi, K. T. Sorayama, M. P. Sorayamakawa, K. M. Tanikumo, S. D. Yuwa, & R. C. Yuwasa, Eds., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.
- Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan)[Privately published book]. In Nihoh C. Iroha (Supervising Ed.), *Research institutes of ICU* (Chihoshi A. Ametsu, Hoshi E. Ametsuchi, Kawamine T. Sorayama, Mine P.

Sorayamakawa, Kiri M. Tanikumo, Saruo D. Yuwa, & Ruo C. Yuwasa, Eds., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、掲載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

※Eds.の末尾ピリオドは、EdsがEditorsの省略形だということを示すためのもので、APAの記述構造とは無関係。

3) 掲載巻補足貢献者の貢献者名 8 以上 (Contribution あり)

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ (Supervising Ed.), 『ICUの研究所』 (雨津ちほし, 雨土ホシ, 宙山河峰, 空山川みね, 谷雲キリ, 湯和申緒, . . . 袖羽佐るお, Eds., pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha (Supervising Ed.), *Research institutes of ICU* (C. A. Ametsu, H. E. Ametsuchi, K. T. Sorayama, M. P. Sorayamakawa, K. M. Tanikumo, S. D. Yuwa, . . . R. C. Yuwasa, Eds., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoho C. Iroha (Supervising Ed.), *Research institutes of ICU* (Chihoshi A. Ametsu, Hoshi E. Ametsuchi, Kawamine T. Sorayama, Mine P. Sorayamakawa, Kiri M. Tanikumo, Saruo D. Yuwa, . . . Ruo C. Yuwasa, Eds., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、掲載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

※Eds.の末尾ピリオドは、EdsがEditorsの省略形だということを示すためのもので、APAの記述構造とは無関係。

○**掲載巻補足情報**全体が半角丸括弧に囲われているため、ここでは括弧の多階層化を避けるため各 contribution は半角丸括弧で囲わない。

■著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
- ・それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・2 人列挙の場合では A, & B,
- ・3 人以上の列挙では A, B, ... F, & G,

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である (通常はアンパサンド前にはカンマを打たない)。

上記のような貢献者の列挙は7人までで、8人以上いる場合はA, ■B, ■C, ■D, ■E, ■F, ■. ■. ■. ■Z, ■のように記述する。アンパサンドを使わずに6人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■**収載巻補足貢献者の Contribution の代表例**  
Author（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に原作者がいる場合）／  
Writer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に脚本家がいる場合）／  
Executive ■Producer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に製作総指揮がいる場合）／  
Producer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にプロデューサーがいる場合）／  
Chief ■Producer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にチーフプロデューサーがいる場合）／  
Director（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に監督がいる場合）／  
Composer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に作曲家がいる場合）／  
Lyricist（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に作詞家がいる場合）／  
Performer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に歌唱・演奏・演技者がいる場合）／  
Ed.（収載巻に著者位置の貢献者とは別に編集者がいる場合）／  
Vol. ■Ed.（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ中の一巻のみの編集者がいる場合）／  
Series ■Ed.（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ全体の編集者がいる場合）／  
Supervising ■Ed.（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に監修者がいる場合）／  
Trans.（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に翻訳者がいる場合）／  
Transcriber（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に手書き写本家がいる場合）／  
Annotator（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に注釈者がいる場合）／  
Adaptor（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に脚色者や編曲者がいる場合）／  
Speaker（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に話者、座談会参加者がいる場合）／  
Interviewer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー聞き手がいる場合）／  
Interviewee（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー語り手がいる場合）／  
Cartographer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に地図製作者がいる場合）／  
Chair（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にシンポジウムなどの司会がいる場合）／  
Audiotypist（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に書き起こし者がいる場合）、などである。  
Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

- 4) ■**収載巻補足貢献者の貢献者名 2~7（様々な Contribution）**  
阿井上緒. ■(2003). ■「ジェンダー研究センター」 ■(阿賀沙多菜, ■Annotator, ■PGSS ■version, ■2nd ■ed., ■Doctoral ■Dissertation, ■国際基督教大学, ■東京, ■日本) ■[Privately ■published ■book]. ■In ■色葉にほへ ■(Supervising ■Ed.), ■『ICU の研究所』 ■(雨津ちほし, ■Vol. ■Ed., ■雨土ホシ, ■& ■宙山河峰, ■Eds., ■& ■空山川みね, ■谷雲キリ, ■湯和申緒, ■& ■袖羽佐るお, ■Interviewers, ■pp. ■8-100). ■東京: ■CGS 出版.  
Ai, ■U. ■M. ■(2003). ■Center for gender studies ■(S. ■E. ■Aga, ■Annotator, ■PGSS ■version, ■2nd ■ed., ■Doctoral ■Dissertation, ■International ■Christian ■University, ■Tokyo, ■Japan) ■[Privately ■published ■book]. ■In ■N. ■C. ■Iroha ■

(Supervising Ed.), Research institutes of ICU (C. A. Ametsu, Vol. Ed., H. E. Ametsuchi, & K. T. Sorayama, Eds., & M. P. Sorayamakawa, K. M. Tanikumo, S. D. Yuwa, & R. C. Yuwasa, Interviewers, pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoh C. Iroha (Supervising Ed.), Research institutes of ICU (Chihoshi A. Ametsu, Vol. Ed., Hoshi E. Ametsuchi, & Kawamine T. Sorayama, Eds., & Mine P. Sorayamakawa, Kiri M. Tanikumo, Saruo D. Yuwa, & Ruo C. Yuwasa, Interviewers, pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、掲載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

※Eds.の末尾ピリオドは、EdsがEditorsの省略形だということを示すためのもので、APAの記述構造とは無関係。

○**掲載巻補足情報**全体が半角丸括弧に囲われているため、ここでは括弧の多階層化を避けるため各 contribution は半角丸括弧で囲わない。

著者位置以外の場所の貢献者の Contribution が様々にある場合は、貢献者名はただアルファベット順に並べるのではなく、上記のように共通 Contribution ごとにまとめて記述する。

同一 Contribution グループ内では、貢献者名は50音順（日本語作品の場合）またはアルファベット順に並べる。

**■著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙**

- ・日本語作品の貢献者名は Surname の50音順
- ・それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
- ・2人列挙の場合では A, & B,
- ・3人以上の列挙では A, B, ... F, & G,

となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は7人までで、8人以上いる場合は

A, B, C, D, E, F, . . . Z,

のように記述する。アンパサンドを使わずに6人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

**■著者位置以外の場所での、同一 Contribution でまとめた貢献者グループの列挙**

- ・2グループ列挙の場合では GroupA, & GroupB
- ・3グループ以上の列挙では GroupA, GroupB, ... GroupF, & GroupG

となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常は

アンパサンド前にはカンマを打たない)。  
上記のような同一 Contribution グループの列挙は 7 グループまでで、8 グループ以上ある場合は  
GroupA, ■GroupB, ■GroupC, ■GroupD, ■GroupE, ■GroupF, ■. ■. ■. ■GroupZ, ■  
のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 グループ目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。  
また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。  
該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■ 収載巻補足貢献者の Contribution の代表例  
Author (収載巻に、著者位置の貢献者とは別に原作者がいる場合) /  
Writer (収載巻に、著者位置の貢献者とは別に脚本家がいる場合) /  
Executive ■ Producer (収載巻に、著者位置の貢献者とは別に製作総指揮がいる場合) /  
Producer (収載巻に、著者位置の貢献者とは別にプロデューサーがいる場合) /  
Chief ■ Producer (収載巻に、著者位置の貢献者とは別にチーフプロデューサーがいる場合) /  
Director (収載巻に、著者位置の貢献者とは別に監督がいる場合) /  
Composer (収載巻に、著者位置の貢献者とは別に作曲家がいる場合) /  
Lyricist (収載巻に、著者位置の貢献者とは別に作詞家がいる場合) /  
Performer (収載巻に、著者位置の貢献者とは別に歌唱・演奏・演技者がいる場合) /  
Ed. (収載巻に著者位置の貢献者とは別に編集者がいる場合) /  
Vol. ■ Ed. (収載巻に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ中の一巻のみの編集者がいる場合) /  
Series ■ Ed. (収載巻に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ全体の編集者がいる場合) /  
Supervising ■ Ed. (収載巻に、著者位置の貢献者とは別に監修者がいる場合) /  
Trans. (収載巻に、著者位置の貢献者とは別に翻訳者がいる場合) /  
Transcriber (収載巻に、著者位置の貢献者とは別に手書き写本家がいる場合) /  
Annotator (収載巻に、著者位置の貢献者とは別に注釈者がいる場合) /  
Adaptor (収載巻に、著者位置の貢献者とは別に脚色者や編曲者がいる場合) /  
Speaker (収載巻に、著者位置の貢献者とは別に話者、座談会参加者がいる場合) /  
Interviewer (収載巻に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー聞き手がいる場合) /  
Interviewee (収載巻に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー語り手がいる場合) /  
Cartographer (収載巻に、著者位置の貢献者とは別に地図製作者がいる場合) /  
Chair (収載巻に、著者位置の貢献者とは別にシンポジウムなどの司会がいる場合) /  
Audiotypist (収載巻に、著者位置の貢献者とは別に書き起こし者がいる場合)、などである。  
Ed. と Trans. はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

5) 収載巻補足貢献者の貢献者名 8 以上 (様々な Contribution)

阿井上緒. ■(2003). ■「ジェンダー研究センター」 ■(阿賀沙多菜, ■Annotator, ■PGSS ■version, ■2nd ■ed., ■Doctoral ■Dissertation, ■国際基督教大学, ■東京, ■日本) ■[Privately ■published ■book]. ■In ■色葉にほへ ■(Supervising ■Ed.), ■『ICU の研究所』 ■(色輪ニホへ, ■土時リヌル, ■& ■柝里ぬる, ■Vol. ■Eds., ■& ■

雨津ちほし, 雨土ホシ, 宙山河峰, 空山川みね, 谷雲キリ, 湯和申緒, . . . . 袖羽佐るお, Eds., pp. 8-100). 東京: CGS 日本.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha (Supervising Ed.), *Research institutes of ICU* (N. E. Iroha, R. M. Doji, & N. T. Tochiri, Vol. Eds., & C. A. Ametsu, H. E. Ametsuchi, K. T. Sorayama, M. P. Sorayamakawa, K. M. Tanikumo, S. D. Yuwa, . . . . R. C. Yuwasa, Eds., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoho C. Iroha (Supervising Ed.), *Research institutes of ICU* (Nihoho E. Iroha, Rinuru M. Doji, & Nuruwo T. Tochiri, Vol. Eds., & Chihoshi A. Ametsu, Hoshi E. Ametsuchi, Kawamine T. Sorayama, Mine P. Sorayamakawa, Kiri M. Tanikumo, Saruo D. Yuwa, . . . . Ruo C. Yuwasa, Eds., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

○**収載巻補足情報**全体が半角丸括弧に囲われているため、ここでは括弧の多階層化を避けるため各 contribution は半角丸括弧で囲わない。

貢献者の Contribution が様々にある場合は、貢献者名はただアルファベット順に並べるのではなく、上記のように共通 Contribution ごとにまとめて記述する。同一 Contribution グループ内では、貢献者名は 50 音順（日本語作品の場合）またはアルファベット順に並べる。

■著者位置以外の場所での、Contribution を同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙

- ・日本語作品の貢献者名は Surname の 50 音順
  - ・それ以外の言語の作品の貢献者名は Surname のアルファベット順
  - ・2 人列挙の場合では A, & B,
  - ・3 人以上の列挙では A, B, ... F, & G,
- となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような貢献者の列挙は 7 人までで、8 人以上いる場合は

A, B, C, D, E, F, . . . . Z,

のように記述する。アンパサンドを使わずに 6 人目までカンマを挟んで列挙して、その後スペースを挟んだピリオド 3 つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■著者位置以外の場所での、同一 Contribution でまとめた貢献者グループの列挙

- ・2 グループ列挙の場合では Group A, & Group B



・3グループ以上の列挙では GroupA, GroupB, ... GroupF, & GroupG となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。

上記のような同一 Contribution グループの列挙は7グループまでで、8グループ以上ある場合は

GroupA, GroupB, GroupC, GroupD, GroupE, GroupF, ..., GroupZ, のように記述する。アンパサンドを使わずに6グループ目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。

また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。

該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

#### ■ 収載巻補足貢献者の Contribution の代表例

Author（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に原作者がいる場合）／  
Writer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に脚本家がいる場合）／  
Executive Producer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に製作総指揮がいる場合）／  
Producer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にプロデューサーがいる場合）／  
Chief Producer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にチーフプロデューサーがいる場合）／  
Director（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に監督がいる場合）／  
Composer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に作曲家がいる場合）／  
Lyricist（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に作詞家がいる場合）／  
Performer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に歌唱・演奏・演技者がいる場合）／  
Ed.（収載巻に著者位置の貢献者とは別に編集者がいる場合）／  
Vol. Ed.（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ中の一巻のみの編集者がいる場合）／  
Series Ed.（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ全体の編集者がいる場合）／  
Supervising Ed.（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に監修者がいる場合）／  
Trans.（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に翻訳者がいる場合）／  
Transcriber（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に手書き写本家がいる場合）／  
Annotator（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に注釈者がいる場合）／  
Adaptor（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に脚色者や編曲者がいる場合）／  
Speaker（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に話者、座談会参加者がいる場合）／  
Interviewer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー聞き手がいる場合）／  
Interviewee（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー語り手がいる場合）／  
Cartographer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に地図製作者がいる場合）／  
Chair（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にシンポジウムなどの司会がいる場合）／  
Audiotypist（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に書き起こし者がいる場合）、などである。

Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

#### 6) 様々な Contribution / Contribution の兼任

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ (Supervising Ed.),

『ICUの研究所』(色輪ニホへ, Vol. Ed., 土時リヌル, & 栢里ぬる, Vol. Eds. & Interviewers, & 雨津ちほし, 雨土ホシ, 宙山河峰, 空山川みね, 谷雲キリ, 湯和申緒, . . . 袖羽佐るお, Eds., pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha (Supervising Ed.), *Research institutes of ICU* (N. E. Irowa, Vol. Ed., R. M. Doji, & N. T. Tochiri, Vol. Eds. & Interviewers, & C. A. Ametsu, H. E. Ametsuchi, K. T. Sorayama, M. P. Sorayamakawa, K. M. Tanikumo, S. D. Yuwa, . . . R. C. Yuwasa, Eds., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoho C. Iroha (Supervising Ed.), *Research institutes of ICU* (Nihoho E. Irowa, Vol. Ed., Rinuru M. Doji, & Nuruwo T. Tochiri, Vol. Eds. & Interviewers, & Chihoshi A. Ametsu, Hoshi E. Ametsuchi, Kawamine T. Sorayama, Mine P. Sorayamakawa, Kiri M. Tanikumo, Saruo D. Yuwa, . . . Ruo C. Yuwasa, Eds., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

○**収載巻補足情報**全体が半角丸括弧に囲われているため、ここでは括弧の多階層化を避けるため各 contribution は半角丸括弧で囲わない。

※Eds.の末尾ピリオドは、EdsがEditorsの省略形だということを示すためのもので、APAの記述構造とは無関係。

貢献者のContributionが様々にある場合は、貢献者名はただアルファベット順に並べるのではなく、上記のように共通Contributionごとにまとめて記述するが、Contributionが完全に一致していない場合は、一つのグループにまとめることはできない。

上記の例ではVol. Ed.とVol. Eds. & Interviewersは、完全に一致していないため別のグループとしてくくられている。

同一Contributionグループ内では、貢献者名は50音順（日本語作品の場合）またはアルファベット順に並べる。

■**著者位置以外の場所での、Contributionを同じくする貢献者たちの、グループ内での列挙**

- ・日本語作品の貢献者名はSurnameの50音順
- ・それ以外の言語の作品の貢献者名はSurnameのアルファベット順
- ・2人列挙の場合ではA, & B,
- ・3人以上の列挙ではA, B, ... F, & G, となる。

アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。  
上記のような貢献者の列挙は7人までで、8人以上いる場合は  
A, B, C, D, E, F, . . . Z,  
のように記述する。アンパサンドを使わずに6人目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者だけを記述する。

■ 著者位置以外の場所での、同一 Contribution でまとめた貢献者グループの列挙

・2グループ列挙の場合では GroupA, & GroupB  
・3グループ以上の列挙では GroupA, GroupB, . . . GroupF, & GroupG  
となる。アンパサンド直前にもカンマを打つ点が特徴的である（通常はアンパサンド前にはカンマを打たない）。  
上記のような同一 Contribution グループの列挙は7グループまでで、8グループ以上ある場合は  
GroupA, GroupB, GroupC, GroupD, GroupE, GroupF, . . . GroupZ,  
のように記述する。アンパサンドを使わずに6グループ目までカンマを挟んで列挙して、その後にスペースを挟んだピリオド3つを置き、最後に、一番最後の貢献者グループだけを記述する。  
また、グループ間の順序は Contribution の重要度で決まる。  
該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■ 著者位置以外の場所での Contribution の列挙は

Contribution がいくつか兼任されている場合は、  
・Contribution を半角角括弧で囲う場合は  
・2つの列挙で (ContributionA & ContributionB)、  
・3つ以上だと (ContributionA, ContributionB, . . . ContributionY & ContributionZ)  
・Contribution を半角角括弧で囲わない場合は、  
・2つの列挙で ContributionA & ContributionB、  
・ContributionA, ContributionB, . . . ContributionY & ContributionZ  
のように、いずれもアンパサンド前にカンマを打たずに記述する（ここが貢献者名の列挙と違うので注意）。  
Contribution は貢献者名と違って、8以上あっても . . . で省略しない。  
該当貢献者が複数いれば、Contribution も複数形になる点に注意。

■ 収載巻補足貢献者の Contribution の代表例

Author（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に原作者がいる場合）／  
Writer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に脚本家がいる場合）／  
Executive Producer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に製作総指揮がいる場合）／  
Producer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にプロデューサーがいる場合）／  
Chief Producer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別にチーフプロデューサーがいる場合）／  
Director（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に監督がいる場合）／  
Composer（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に作曲家がいる場合）／  
Lyricist（収載巻に、著者位置の貢献者とは別に作詞家がいる場合）／  
Performer（収載巻に、著

者位置の貢献者とは別に歌唱・演奏・演技者がいる場合) / Ed. (収録巻に著者位置の貢献者とは別に編集者がいる場合) / Vol. Ed. (収録巻に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ中の一巻のみの編集者がいる場合) / Series Ed. (収録巻に、著者位置の貢献者とは別に、シリーズ全体の編集者がいる場合) / Supervising Ed. (収録巻に、著者位置の貢献者とは別に監修者がいる場合) / Trans. (収録巻に、著者位置の貢献者とは別に翻訳者がいる場合) / Transcriber (収録巻に、著者位置の貢献者とは別に手書き写本家がいる場合) / Annotator (収録巻に、著者位置の貢献者とは別に注釈者がいる場合) / Adaptor (収録巻に、著者位置の貢献者とは別に脚色者や編曲者がいる場合) / Speaker (収録巻に、著者位置の貢献者とは別に話者、座談会参加者がいる場合) / Interviewer (収録巻に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー聞き手がいる場合) / Interviewee (収録巻に、著者位置の貢献者とは別にインタビュー語り手がいる場合) / Cartographer (収録巻に、著者位置の貢献者とは別に地図製作者がいる場合) / Chair (収録巻に、著者位置の貢献者とは別にシンポジウムなどの司会がいる場合) / Audiotypist (収録巻に、著者位置の貢献者とは別に書き起こし者がいる場合)、などである。

Ed.と Trans.はそれぞれ Editor と Translator の略なので、末尾に略語を表すピリオドを打つ。

#### 4.4.2 収録巻のバージョン情報 (あれば)

収録巻にバージョン情報がある場合は、それを記述しなければならない。

##### 1) 通常の記述

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICUの研究所』 (PGSS version, pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (PGSS version, pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoh C. Iroha, *Research institutes of ICU* (PGSS version, pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収録巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

バージョン名がある場合はこのように記述する。

※他にも、再録・転載を意味する Reprinted version も良く使われる。Reprinted version の場合、末尾追加情報で正本情報を記述する必要がある点に注意。

(収載巻全体がほかの作品の再録・転載に終始しているという場合 (= 収載巻補足情報に Reprinted version と記述する場合) はまれだが、その場合は収載する引用作品も同じ正本からの再録・転載となり、Reprinted version の記述が引用作品補足情報と収載巻補足情報で重なってしまっても、末尾追加情報の正本情報は引用作品の正本だけ記述する場事足りる。)

## 2) 補足貢献者とバージョン名の併記

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICU の研究所』 (雨津ちほし, Ed., PGSS version, pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (C. A. Ametsu, Ed., PGSS version, pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoh C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Chihoshi A. Ametsu, Ed., PGSS version). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

補足貢献者 (ここでは編集者) に関する記述の後、カンマを置いてバージョン名を記述する。

### 4.4.3 収載巻のエディション (あれば)

#### 1) 通常の記述: 重版の場合

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICU の研究所』 (3rd ed., pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (3rd ed., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoh C.

Iroha, *Research institutes of ICU* (3rd ed., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、掲載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

## 2) 改訂版の場合

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICU の研究所』 (Rev. ed., pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Rev. ed., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoh C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Rev. ed., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、掲載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

Rev. ed. は Revised edition の意味。

タイトルに「改訂版」と組み込まれている場合でも、この記述は必要。

改訂版の場合は末尾追加情報で Original work information を記述しなくてはならない (改訂版以外の改版では必要ない)。

## 3) 重版時期が版の名称になっている場合

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICU の研究所』 (Spring 2003 ed., pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Spring 2003 ed., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoh C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Spring 2003 ed., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、掲載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

重版の時期が版の名称になっている場合、それをそのまま記述する。

#### 4) 補足貢献者・バージョン名とエディションの併記

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICUの研究所』 (雨津ちほし, Ed., PGSS version, 3rd ed., pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (C. A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoh C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Chihoshi A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

※ページ情報は、収載巻情報では必ず記述しなくてはならないため、ここでは任意のページ数を記述してある。

補足貢献者（ここでは編集者）に関する記述の後、カンマを置いてバージョン名、続いて再びカンマを打ってエディションを記述する。

#### 4.4.4 収載巻の巻数（あれば）

#### 4.4.5 収載箇所の情報（必須）

引用作品を収載している巻が、複数にわたるシリーズ物の1～複数巻であった場合、巻数の情報の記述が必要になってくる。（※シリーズ物でない一巻物であれば、巻数の情報は記述しない）

巻数と収載箇所情報は、互いの条件によって連動して変化するため、以下では巻数の情報と収載箇所情報をまとめて説明する。

1) 引用作品が、複数巻にわたるシリーズ物中の一巻にわたって収載されている場合

シリーズ物中の一巻のみの場合は、巻数の記号が Vol. と単数形になる点に注意。

※基本的に、収載巻情報を記述する場合は、引用作品が独立して巻立てされていないことが前提なので、「引用箇所が第 a 巻のきっちり最初から最後まで」という場合は、単に引用作品補足情報に巻数情報 (Vol. a) を記述すればいいだけの話で、そもそも収載巻情報は必要ない（記述してはならない）ということに注意。

(1) 引用作品が、シリーズ物中の一巻の、1 ページにわたる場合

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICUの研究所』 (Vol.

3, p. 8). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, Research institutes of ICU (Vol. 3, p. 8). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihohé C. Iroha, Research institutes of ICU (Vol. 3, p. 8). Tokyo: CGS Press.

(2) 引用作品が、シリーズ物中の一巻の、連続する複数ページにわたる場合

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICU の研究所』 (Vol. 3, pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, Research institutes of ICU (Vol. 3, pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihohé C. Iroha, Research institutes of ICU (Vol. 3, pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

(3) 引用作品が、シリーズ物中の一巻の、連続していない複数ページにわたる場合

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICU の研究所』 (Vol. 3, pp. 8, 10-45, 100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, Research institutes of ICU (Vol. 3, pp. 8, 10-45, 100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihohé C. Iroha, Research institutes of ICU (Vol. 3, pp. 8, 10-45, 100). Tokyo: CGS Press.

引用作品の箇所がばらばらの場合（巻中のコラムなどに良くあるケース）、このように該当ページ数をカンマで区切って列挙する。途中でページが連続する箇所があれば、その部分だけ連側する箇所の最初のページ数と最後のページ数をハイフンでつなぐ（上記の例だと「10-45」がそれに当たる）。



**複数巻にわたるシリーズ物中の一巻からの引用の場合、引用した箇所のページが連続していてもしていなくても、一つの作品であればまとめて一つの Reference として記述できる点に注意。**

※一つの作品としてまとめて Reference の記述ができる条件は

- ・タイトルが同一、かつ、収載箇所が連続している
- ・タイトルが同一、かつ、収載箇所が不連続だが、全てのページが一つの収載巻におさめられている。

のいずれかのみの場合である点に注意

※これ以降で詳述するが、**複数巻にわたるシリーズ物中の複数巻**からの引用の場合は、引用した箇所の収載箇所が連続している場合にのみ、まとめて一つの Reference として記述でき、コラムのようにページが不連続な場合で、なおかつ複数巻にまたがっているような場合は、すべてをまとめて一つの Reference とすることはできず、それぞれ巻ごとに個別に Reference を記述しなくてはならない点に注意。

2) 引用作品が、**複数巻にわたるシリーズ物中の複数巻**にわたって収載されている場合

複数巻の場合は巻数の記号が Vols になる点に注意。

※基本的に、収載巻情報を記述する場合は、引用作品が独立して巻立てされていないことが前提なので、「引用箇所がきっちり第 a 巻の最初から第 n 巻の最後まで」という場合は、単に引用作品補足情報に巻数情報 (Vols. ■a-n) を記述すればいいだけの話で、収載巻情報は必要ない (記述してはならない) ということに注意。

(1) 引用作品が、**複数巻にわたるシリーズ物中の、連続した複数巻にわたって収載され、ページも連続している**場合

(=引用した一つの作品が、第 a 巻のどこかから始まって、巻が変わっても途切れることなく続き、第 n 巻のどこかで終わっている場合)

阿井上緒. (2003-2008). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICU の研究所』 (Vol. 1, p.27-Vol. 8, p.87). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003-2008). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Vol. 1, p.27-Vol. 8, p.87). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003-2008). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoho C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Vol. 1, p.27-Vol. 8, p.87). Tokyo: CGS Press.

Vol. 1, p.27-Vol. 8, p.87 という記述は、「第一巻の 27 ページから第 8 巻の 87 ページまで」という意味。

※基本的に、収載巻情報を記述する場合は、引用作品が独立して巻立てされていないことが前提なので、「引用箇所がきっちり第 a 巻の最初から第 n 巻の最

後まで」という場合は、単に引用作品補足情報に巻数情報 (Vols. ■a-n) を記述すればいいだけの話で、収載巻情報は必要ない (記述してはならない) ということに注意。

※この記述はあくまでも複数巻にまたがる一つの作品の場合のもので、タイトルの違う複数の章などをまとめてこのように記述することはできない (そのような場合は引用作品タイトルがそもそもばらばらになるので、Reference の記述自体を一つ一つ個別にやるしかない)。

(2) 引用作品が、複数巻にわたるシリーズ物中の、ページの連続していない作品の場合

(=コラムなど、同一タイトル・異内容の特別なセクションが各巻に繰り返し収載されている場合など)

たとえ同一タイトルでも、ページが連続しておらず、収載されている巻も違えば一つの作品として扱えない。

※一つの作品としてまとめて Reference の記述ができる条件は

- ・タイトルが同一、かつ、収載箇所が連続している
- ・タイトルが同一、かつ、収載箇所が不連続だが、全てのページが一つの収載巻におさめられている。

のいずれかの場合である点に注意

よって、以下のように巻ごとに個別の記述をしなければならない

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICU の研究所』 (Vol. 1, pp. 5-10). 東京: CGS 出版.

阿井上緒. (2005). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICU の研究所』 (Vol. 2, pp. 8-16). 東京: CGS 出版.

阿井上緒. (2008). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICU の研究所』 (Vol. 4, p. 9-Vol. 6, p. 21). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Vol. 1, pp. 5-10). Tokyo: CGS Press.

Ai, U. M. (2005). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Vol. 2, pp. 8-16). Tokyo: CGS Press.

Ai, U. M. (2008). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Vol. 4, p. 9-Vol. 6, p. 21). Tokyo: CGS Press.

- Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihohé C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Vol. 1, pp. 5-10). Tokyo: CGS Press.
- Ai, Ueo M. (2005). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihohé C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Vol. 2, pp. 8-16). Tokyo: CGS Press.
- Ai, Ueo M. (2008). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihohé C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Vol. 4, p. 9-Vol. 6, p. 21). Tokyo: CGS Press.

同タイトル異内容の作品を、1巻から1つ、2巻から1つ、4巻から6巻にまたがる1つ、をそれぞれ引用した場合、の例。

### 3) 特殊な巻数

- 阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICUの研究所』 (Vol. 5.3, p. 8). 東京: CGS 出版.
- Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Vol. 5.3, p. 8). Tokyo: CGS Press.
- Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihohé C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Vol. 5.3, p. 8). Tokyo: CGS Press.

この例は引用作品が 5.3 巻に収録されている場合のもの。  
例えば、書籍に「第1期1巻」や「三・上巻」などと記されている場合は、このように巻数を2部立てにして「Vol. 5.3」や「Vol. 3.1」などとする。

- 巻数が特殊な場合で、引用作品が連続する複数ページにわたる場合は (Vol. 5.3, p. 8-100)
- 巻数が特殊な場合で、引用作品が連続していない複数ページにわたる場合は (Vol. 5.3, pp. 8, 10-45, 100)
- 巻数が特殊な場合で、引用作品が、複数巻にわたるシリーズ物中の、連続した複数巻にわたって掲載され、ページも連続した一つの作品の場合は (Vol. 1.1, p. 27-Vol. 5.3, p. 87) …1.1 巻の途中から 5.3 巻の途中までの意

● 巻数が特殊な場合で、引用作品が、複数巻にわたるシリーズ物中の、ページの連続していない作品の場合

(=コラムなど、同一タイトル・異内容の特別なセクションが各巻に繰り返し掲載されている場合など)

たとえ同一タイトルでも、ページが連続しておらず、掲載されている巻もバラバラであれば一つの作品として扱えないため、巻ごとに個別の記述をしなければならない。

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICU の研究所』 (Vol. 5.3, pp. 5-10). 東京: CGS 出版.

阿井上緒. (2005). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICU の研究所』 (Vol. 5.4, pp. 8-16). 東京: CGS 出版.

阿井上緒. (2008). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICU の研究所』 (Vol. 5.6, p. 9-Vol. 5.8, p. 21). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Vol. 5.3, pp. 5-10). Tokyo: CGS Press.

Ai, U. M. (2005). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Vol. 5.4, pp. 8-16). Tokyo: CGS Press.

Ai, U. M. (2008). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Vol. 5.6, p. 9-Vol. 5.8, p. 21). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihohé C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Vol. 5.3, pp. 5-10). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2005). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihohé C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Vol. 5.4, pp. 8-16). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2008). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian

University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihohé C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Vol. 5.6, p. 9-Vol. 5.8, p. 21). Tokyo: CGS Press.

同タイトル異内容の作品を、5.3 巻から 1 つ、5.4 巻から 1 つ、5.6 巻から 5.8 巻にまたがる 1 つ、をそれぞれ引用した場合、の例。

4) 補足貢献者・バージョン名・エディションと巻数・ページ数の併記

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICU の研究所』 (雨津ちほし, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 3, p. 8). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (C. A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 3, p. 8). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihohé C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Chihoshi A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 3, p. 8). Tokyo: CGS Press.

● 引用作品が連続する複数ページにわたる場合は

(雨津ちほし, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 3, pp. 8-100)

(C. A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 3, pp. 8-100)

(Chihoshi A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 3, pp. 8-100)

● 引用作品が連続していない複数ページにわたる場合は

(雨津ちほし, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 3, pp. 8, 10-45, 100)

(C. A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 3, pp. 8, 10-45, 100)

(Chihoshi A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 3, pp. 8, 10-45, 100)

● 引用作品が、複数巻にわたるシリーズ物中の、連続した複数巻にわたって収録され、ページも連続した一つの作品の場合は

(Vol. 1, p. 27-Vol. 8, p. 87)

(雨津ちほし, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 1, p. 27-Vol. 8, p. 87)

(C. A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 1, p. 27-Vol. 8, p. 87)

(Chihoshi A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 1, p. 27-Vol. 8, p. 87)

● 引用作品が、複数巻にわたるシリーズ物中の、ページの連続していない作品の場合

(=コラムなど、同一タイトル・異内容の特別なセクションが各巻に繰り返して収録されている場合など)

たとえ同一タイトルでも、ページが連続しておらず、収録されている巻もバラバラであれば一つの作品として扱えないため、巻ごとに個別の記述をしな

## くてはならない。

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICUの研究所』 (雨津ちほし, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 1, pp. 5-10). 東京: CGS 出版.

阿井上緒. (2005). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICUの研究所』 (雨津ちほし, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 2, pp. 8-16). 東京: CGS 出版.

阿井上緒. (2008). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICUの研究所』 (雨津ちほし, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 4, p. 9-Vol. 6, p. 21). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (C. A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 1, pp. 5-10). Tokyo: CGS Press.

Ai, U. M. (2005). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (C. A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 2, pp. 8-16). Tokyo: CGS Press.

Ai, U. M. (2008). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU* (C. A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 4, p. 9-Vol. 6, p. 21). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihohé C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Chihoshi A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 1, pp. 5-10). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2005). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihohé C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Chihoshi A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 2, pp. 8-16). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2008). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihohé C. Iroha, *Research institutes of ICU* (Chihoshi A. Ametsu, Ed., PGSS

version, 3rd ed., Vol. 4, p. 9-Vol. 6, p. 21). Tokyo: CGS Press.  
同タイトル異内容の作品を、1巻から1つ、2巻から1つ、4巻から6巻にまたがる1つ、をそれぞれ引用した場合、の例。

5) 掲載巻補足情報に巻数を記述しないケース: 引用作品が、複数の巻にわたるシリーズ内の、独自の巻タイトルを持つ一つの巻に収録されている場合

(1) 基本的な記述

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ, 『ICUの研究所: 現状と課題: Vol. 3. 人文・社会科学系』 (雨津ちほし, Ed., PGSS version, 3rd ed., pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha, *Research institutes of ICU: Now and the future: Vol. 3. Humanities and social sciences* (C. A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoh C. Iroha, *Research institutes of ICU: Now and the future: Vol. 3. Humanities and social sciences* (Chihoshi A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

シリーズ物のなかの、個別の巻タイトルを持つ一つの巻を取り上げる場合は

日本語… 『シリーズタイトル: Vol. 0. 巻タイトル』 .

英語…… Series title: Vol. 0. Volume title.

のスタイルで、<シリーズタイトル>をタイトル扱いに、<巻数と巻タイトル>をサブタイトル扱いにする。

巻数は実際に書籍にどのような形で記載されていようとも、Vol. 0の形にする（0はアラビア数字 1,2,3,4,5,6,7,8,9,0 で表記）。

上記の例では、シリーズタイトル自体がタイトルとサブタイトルに分かれているため、

『シリーズタイトル: シリーズサブタイトル: Vol. 0. 巻タイトル』 .

Series title: Series sub title: Vol. 0. Volume title.

と、結果的に3部に分かれたタイトル記述となっている。

※引用作品が、複数の巻にわたるシリーズ内の、独自の巻タイトルを持つ一つの巻に収録されている場合、巻 (Vol.) の情報が掲載巻タイトル中に組み込まれてしまうので、引用作品が、複数巻にわたるシリーズ物中の、連続した複数巻にわたって収録され、ページも連続した一つの作品の場合でも、掲載巻補足情報で、

(Vol. 1, p.27-Vol. 8, p. 87)

(雨津ちほし, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 1, p.27-Vol. 8, p. 87)  
(C. A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 1, p.27-Vol. 8, p. 87)  
(Chihoshi A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vol. 1, p.27-Vol. 8, p. 87)

といった記述ができなくなる。

よって、この場合は面倒でも各巻ごとに個別の Reference を記述するしかない。とは言え、巻タイトルが各巻ごとに改まっているにもかかわらず、巻を越えて一つの作品が続くことは非常にまれである。

※引用作品が、複数の巻にわたるシリーズ内の、独自の巻タイトルを持つ一つの巻に収録されている場合、巻 (Vol.) の情報が収録巻タイトル中に組み込まれてしまうので、上記の例ではその他の収録巻補足情報だけが収録巻タイトルの後ろの半角角括弧内に残されている。

(2) 引用作品が、巻ごとに別の編集者がいる複数巻にわたるシリーズ内の、独自の巻タイトルを持つ1つの巻に収録されている場合

阿井上 緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ (Series Ed.), & 雨津ちほし, (Vol. Ed.), 『ICU の研究所: 現状と課題: Vol. 3. 人文・社会科学系』 (雨土ホシ, Ed., PGSS version, 3rd ed., pp. 8-100). 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha (Series Ed.), & C. A. Ametsu, (Vol. Ed.), *Research institutes of ICU: Now and the future: Vol. 3. Humanities and social sciences* (C. A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoho C. Iroha (Series Ed.), & Chihoshi A. Ametsu, (Vol. Ed.), *Research institutes of ICU: Now and the future: Vol. 3. Humanities and social sciences* (Chihoshi A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., pp. 8-100). Tokyo: CGS Press.

この場合、当該巻のもっとも主要な貢献者は Volume Editor (巻編集者) だが、Series Editor (シリーズ編集者) も重要と判断した場合は、収録巻補足貢献者ではなく収録巻貢献者として記述してよい。その場合 Contribution の重要度順で、Series Editor が先に記述される。

※引用作品が、複数の巻にわたるシリーズ内の、独自の巻タイトルを持つ一つの巻に収録されている場合、巻 (Vol.) の情報が収録巻タイトル中に組み込まれてしまうので、上記の例ではその他の収録巻補足情報だけが収録巻タイトルの後ろの半角角括弧内に残されている。

6) 収録巻にページ数が振られていない場合

収録巻にページ数がない場合は、収録箇所をチャプター数やパラグラフ数で記



述する。

※巻数との兼ね合いなど、記述の注意点は、収載箇所をページ数で記述する場合とまったく同じとなるので、詳細については 1)~5)を参照のこと。

実際の記述は、以下のようになる。

(1) ページ数をチャプター数で代える場合

[1] 引用作品が 1 チャプターにわたる場合は

chap. ■8

のように記述する。

[2] 引用作品が連続した複数チャプターにわたる場合は

chaps. ■8-100

のように記述する。

[3] 引用作品が連続していない複数チャプターにわたる場合は

chaps. ■8, ■10-45, ■100

のように記述する。

(2) ページ数をパラグラフ数で代える場合

[1] 引用作品が 1 パラグラフにわたる場合は

para. ■8

のように記述する。

[2] 引用作品が連続した複数チャプターにわたる場合は

paras. ■8-100

のように記述する。

[3] 引用作品が連続していない複数チャプターにわたる場合は

paras. ■8, ■10-45, ■100

のように記述する。

#### 4.5 Description (あれば)

**Description** とは、内容や内容の種類・形式・媒体について説明するためのものである。通常予想される書籍や文献とはちがう内容・媒体の場合に、半角角括弧に囲った形で付記される。

Description は複数組み合わせで記述することも可能で、しばしば媒体と内容の種類両方についてのものが見られる。他にも組み合わせは多様であるため、引用作品に合わせて適切なものを記述する。

Description は、必要に応じて複数形に変えて記述すること。

##### 1) Description の種類

(1) 内容に関する Description

[Abstract] (要旨)

[Editorial] (社説)

[Proceedings] (議事録)

[Motion picture] (映画の場合)

[Television■broadcast] (テレビ番組の場合)  
[Television■series] (テレビシリーズの場合)  
[Television■series■episode] (テレビシリーズ中の 1 話の場合)  
[Movie■script] (映画の脚本の場合)  
[Dialogue] (座談会の場合)  
[Computer■software] (コンピューターソフトの場合)  
[Computer■software■and■manual] (コンピューターソフトとマニュアルの場合)  
[Data■file] (データファイルの場合)  
[Video■file] (動画ファイルの場合)  
[Demographic■map] (地図の場合)  
[Data■file■and■code■book] (データファイルとコードブックの組み合わせの場合)  
[Software■and■training■videos] (ソフトウェアと練習 video の場合)  
[Apparatus■and■software] (機器とソフトウェアの場合)  
[Letter■to■G.■M.■Surname■(G.■M.■Surname,■Trans.)] (~~さんへの手紙の場合  
(この例では別に翻訳者も入っている): 宛先となった人物に関しては、氏名で  
はなく Editor のように役職で特定してもいい)  
[Clipping■from■XXX■newspaper] (XXX 新聞からの切り抜きの場合)  
[Clipping■from■XXX■magazine] (XXX 誌からの切り抜きの場合)  
[Commentary■on■the■book■Work■title■by■G.■M.■Surname] (~~によって作成  
された~~というタイトルの本に対する解説の場合。book は作品の媒体・種類  
に合わせて DVD、video、movie などに変える)  
[Review■of■the■book■Work■title■by■G.■M.■Surname] (~~によって作成された  
~~というタイトルの本に対する評論の場合。book は作品の媒体・種類に合わ  
せて DVD、video、movie などに変える)  
[Interview] (インタビューの場合: インタビューの場合、通常は話し手を著者位  
置に記述し、聞き手を引用作品補足情報に記述する。聞き手／話し手の区別  
のない座談会の場合は、Description としては Dialogue を記述し、聞き手／話し手  
ともに著者位置に記述すること))

## (2) 媒体・形式や収載場所に関する Description

[Supplemental■material] (補足的資料)  
[Monograph] (モノグラフ・抜き刷り)  
[Special■issue] (特別号)  
[Special■section] (特集)  
[Web■log■post] (ブログエントリ)  
[Web■comment] (ウェブ上のコメント)  
[Web■message] (ウェブ上のメッセージ)  
[Wikis■article] (wiki 形式の記事)  
[Online■forum■comment] (オンラインフォーラム上のコメント)  
[Electronic■mailing■list■message] (メーリングリストに流れたメッセージ)  
[Blog■post] (ブログエントリ)  
[Transcription] (手書き写本)  
[Woodblock-copy] (覆刻本)  
[Photocopy] (影印本)  
[Wooden■letterpress-copy] (木製活版印刷翻刻本)  
[Letterpress-copy] (翻刻本)  
[CD] (CD)

[VHS■video■cassette] (VHS)  
[Cassette■recording] (カセット録音)  
[CD■recording] (CD 録音)  
[Electronic■version] (電子版)  
[Podcast] (ポッドキャスト)  
[Privately■published■book] (自費出版)  
[Bound■brochures] (製本されたパンフレット)  
[Bound■journals] (製本された学術誌)

### (3) 複合的な Description

[DVD■summarizing■television■series] (テレビシリーズの総集編 DVD)  
[DVD■of■motion■picture] (映画の DVD の場合)  
[DVD■of■television■broadcast] (テレビ番組の DVD の場合)  
[Movie■podcast] (映画のポッドキャスト)  
[Music■podcast] (音楽のポッドキャスト)  
このように媒体と内容の種類両方についてのもの、と様々なものがある。

## 2) Description の記述例

### (1) Description の記述例: 収載巻補足情報がない場合

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ (Ed.), 『ICU の研究所』 [Electronic version]. 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha (Ed.), *Research institutes of ICU* [Electronic version]. Tokyo: CGS Press.

Ai, Ueo M. (2003). Center for gender studies (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoho C. Iroha (Ed.), *Research institutes of ICU* [Electronic version]. Tokyo: CGS Press.

収載巻補足情報がない場合は、収載巻タイトル直後に、ピリオドやカンマを置かず、半角スペースを挟んだだけで Description を記述する。

### (2) Description の記述例: 収載巻補足情報がある場合

阿井上緒. (2003). 「ジェンダー研究センター」 (阿賀沙多菜, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, 国際基督教大学, 東京, 日本) [Privately published book]. In 色葉にほへ (Ed.), 『ICU の研究所』 (雨津ちほし, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vols. 1-8, pp. 8-100) [Electronic version]. 東京: CGS 出版.

Ai, U. M. (2003). Center for gender studies (S. E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In N. C. Iroha

(Ed.), [Research institutes of ICU](#) (C. A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vols. 1-8, pp. 8-100) [Electronic version]. Tokyo: CGS Press.  
Ai, Ueo M. (2003). [Center for gender studies](#) (Satana E. Aga, Annotator, PGSS version, 2nd ed., Doctoral Dissertation, International Christian University, Tokyo, Japan) [Privately published book]. In Nihoh C. Iroha (Ed.), [Research institutes of ICU](#) (Chihoshi A. Ametsu, Ed., PGSS version, 3rd ed., Vols. 1-8, pp. 8-100) [Electronic version]. Tokyo: CGS Press.

収載巻補足情報がある場合は、

- ・ 収載巻タイトル直後に、ピリオドやカンマを置かず、半角スペースを挟んだだけでまずは引用作品補足情報を、
- ・ 続いて半角スペースを挟んだだけで Description を記述する。

※Description を複数記述したい場合は、

● 引用作品が「A と B」の 2 つから成っている場合は、  
[A and B]

のようにアンパサンドではなく and でつないで記述する。

3 つ以上の場合は[A, B, ..., Y and Z]となる。

Description が 8 を越えても . . . で省略しない。

● 引用作品が、A であり、なおかつ B である、という場合は  
[A, B]

のようにカンマを挟んで列挙する。

3 つ以上の場合は[A, B, ..., Y, X]となる。

いくつ列挙してもアンパサンドは使用せず、ただカンマだけを間にはさんで列挙する。Description が 8 を越えても . . . で省略しない。